

令和5年度 佐呂間町教育の概要



浜佐呂間小学校運動会



浜佐呂間小学校学芸会

佐呂間町教育委員会

目 次

佐呂間町の概要	1
佐呂間町教育目標	2
学校教育目標	3
佐呂間町教育行政推進方針（抜粋）	4
学 校 教 育	
学 校 概 要	
佐呂間小学校	8
若佐小学校	10
浜佐呂間小学校	12
佐呂間中学校	14
佐呂間高等学校	16
学校教育団体	18
統廃合の沿革	19
社 会 教 育	
社会教育目標	24
社会教育関係事業	26
社会教育団体	34
教 育 予 算	36
教 育 施 設	
施設の概要	37
施設の利用状況	39
教育関係委員名簿	40
佐呂間町教育委員会事務局の機構	41

佐呂間町の概要

■ 沿革

佐呂間町は、1894年(明治27年)、鈴木甚五郎が青森県から入植し浜佐呂間に定住したことにより歴史の1ページが始まった。その後、本州各地から農漁業を営む入植者が次々と来住、本町を開拓してきた。そして農林漁業を基幹産業とし、また、サロマ湖を中心に観光地として発展を遂げ、1994年(平成6年)に開基100年を迎えた。

■ 町名の起源

町名は、アイヌ語の「サロ・オマ・ペット(葦のあるところの川)」と「サラ・オマ(葦のあるところの沼)」が起源とされており、それが転じて「サロマ」となり、1915年(大正4年)に「佐呂間」と和文転用された。

■ 位置と面積

オホーツク管内のほぼ中央部に位置し、北見市、湧別町、遠軽町と隣接しており、北方一帯はサロマ湖に面している。総面積は、404.99平方キロメートルを有している。

■ 地勢

佐呂間町は、大雪山系の山々を背景に、東西が細長く、北方は丘陵地帯を形成し、またその一帯は海に面している。町の中央を流れる佐呂間別川はサロマ湖へと注ぎ、流域一帯には肥沃な大地が広がっている。

■ 町章

佐呂間町のカナ文字を「サ」が「ロ」と「マ」を囲むように図案化したものである。横棒が、全町を固く結んだ町民の心、一致団結、共存共栄、円満な理想郷を表している。



(昭和28年4月1日制定)

■ 人口

各年9月末日現在

年	世帯数	総数	男	女
平成23年	2,485	5,831	2,784	3,047
平成24年	2,461	5,725	2,739	2,986
平成25年	2,562	5,770	2,698	3,072
平成26年	2,556	5,655	2,638	3,017
平成27年	2,543	5,547	2,607	2,940
平成28年	2,495	5,387	2,538	2,849
平成29年	2,476	5,291	2,484	2,807
平成30年	2,499	5,237	2,451	2,786
令和元年	2,511	5,150	2,422	2,728
令和2年	2,461	5,015	2,367	2,648
令和3年	2,397	4,873	2,304	2,569
令和4年	2,416	4,818	2,266	2,552

佐呂間町教育目標

森と湖の大自然に育まれた私たち町民は「英知と友愛と勇気」をもって、明るく豊かなまちづくりを目指し、活力ある人間性豊かなたくましい人になるため、この教育目標を制定します。

自ら学び

ともに磨き合い

広い心と

生きがいを持ち

ふるさとを愛する

たくましいサロマ人

(平成7年1月1日制定)

■ 解説

佐呂間町は、開拓以来、心豊かな人づくりを目指し、明るく平和な町づくりの創造に、英知と友愛と勇気をもって励んできました。

これからは、新しい時代に向けて、創造的に富む知性豊かな人になるために自ら学ぶ姿勢をもち、考え、行動することが求められます。

また、自然や文化に親しみ、美しさや優しい心など、豊かな情操を培うとともに、広い心で人々と交流し、ともに磨き合い、ふるさとの発展に努めることが必要です。

さらに、町民としての責任と誇りを自覚し、自然の豊かさと調和した産業と文化の町づくりを目指して、ふるさとの発展に励むことが大切です。

そして強い意志をもって、心身を鍛え、明るくたくましく生きるために、生命を尊びふるさとの自然や特性を生かして、積極的に行動する事が望まれています。

ふるさとの21世紀を展望するとき、生涯を通じて学ぶ意欲をもち、町民一人一人が主役となり、生きがいのある生活を築く、「たくましいサロマ人」になることが期待されます。

■ 基本的指標

- 【知】
 - ・自ら学び、創造的に実践する人に
 - ・広い考えで、時代の変化にたくましく対応する人に
 - ・生涯学び続け、生きがいのある人生を築く人に
- 【情】
 - ・自然を愛し、思いやりのある心をもつ人に
 - ・郷土の文化を大切に、豊かな社会をつくる人に
 - ・広い心で、国際社会のためにつくす人に
- 【意】
 - ・責任をもち、自ら進んでやりぬく人に
 - ・勤労に喜びをもち、よりよい生活をする人に
 - ・町民としての誇りをもち、地域の発展に努める人に
- 【体】
 - ・健康安全に心がけ、進んで心身を鍛える人に
 - ・スポーツに親しみ、活力ある生活をする人に
 - ・生命を尊重し、うるおいのある生き方をする人に

学 校 教 育

学校教育目標

～自ら未来をきり拓き、たくましく生きるために～

- 自ら学び 創造力のある人に
- 郷土を愛し 豊かな心をもつ人に
- 進んで働き 最後までやりぬく人に
- 生命を尊び 明るくたくましい人に

(平成7年4月1日改定)

■ 解 説

佐呂間町は、森と湖のまちに相応しい文化の創造のため、多くの困難を乗り越え、開基100年の輝かしい歴史と伝統を築いてきました。この先人の魂を正しく継承し、21世紀を担う子ども達が調和のある発達を期すための目標であります。そして、限りない未来を拓く子どもの心身ともに健全な成長を願い「自ら考え、正しく判断できる人間性豊かなたくましい子ども」の育成を目指しています。

○自ら学び、創造力のある人に

生涯にわたって学び、創造力のある人になるためには、自ら学ぶ意欲や態度を培い基礎的・基本的内容をしっかり身につけることが大切です。

そして、個性を生かしながら思考力・判断力・表現力や情報処理能力など、生きて働く力を培い、時代の変化に対応する積極的な態度や能力を育成することが重要です。

○郷土を愛し、豊かな心をもつ人に

ふるさとを愛し、人を思いやる豊かな心を持つ人になるためには、自然に親しみ、人間尊重の精神や感謝の心を培い、積極的に行動する態度を身につけることが大切です。

そして、広い心と温かい人間性を育て、互いに協力し合い、励まし合って郷土のために尽くす態度や国際社会に対応する能力を育成することが重要です。

○進んで働き、最後までやりぬく人に

仕事に励み、強い意志と実力を持ち、個性豊かな人になるためには自ら考え行動し、自発的に課題を解決していく態度を身につけることが大切です。

そして、積極的に体験する中で、ものごとを深く探求する心を培い、自分の良さを生かしながら、最後まで根強くやりぬく力を育成することが重要です。

○生命を尊び、明るくたくましい人に

生命を大切にし、自ら心や体を鍛え、明るく生きる人になるためには、日常的に健康安全に努め、心身を磨き、自ら解決していく態度を身につけることが大切です。

そして、家庭や地域との連携を密にし、生涯にわたって自ら実践するとともに、環境や社会の変化に対応できる態度や能力育成することが重要です。

佐呂間町教育行政推進方針（抜粋）

人口減少や少子高齢化の進行、ICT・グローバル化の急速な発展など、近年、人々の価値観や生活様式は大きく変化しました。

昨年は、明治五年の「学制」発布から150年を迎え、教育もまた時代とともに進化し続けていますが、どの時代においても、教育は地域、社会の礎であることは不変です。

だからこそ、従来の知識や経験だけでは解決することが難しく、予測困難で、変化の激しい現在において、子どもたちや佐呂間町の住民の皆様がそれぞれの能力を伸ばし、心豊かに人生を送ることができるよう、学びの推進に取り組んでまいります。

以下、各項目にわたりご説明申し上げます。

◎学校教育の推進

1. 確かな学力の育成

平成7年に制定された「佐呂間町教育目標」は、知徳体を一体で育むいわゆる「日本型学校教育」の精神そのものであります。

この尊い目標を目指し、新学習指導要領に基づき「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」が育まれるよう取り組んでまいります。

佐呂間小学校では、6年生を少人数学級編成とし、若佐小学校及び浜佐呂間小学校では、複式授業の解消や英語教育の充実を図るため、引き継ぎ町単独の教員や英語補助員を採用し、中学校には町単独教員を配置し、充実した授業実施に取り組んでまいります。

英語教育では、本年度もALTを派遣し、小中学生の外国語のコミュニケーション能力の向上を進めてまいります。

また、いわゆる漢字検定、英検、数学検定に対する費用助成や、基礎的読解力を把握するためのリーディングスキルテストの小中学校での実施など、それぞれの目標達成に向けた取組の支援を継続してまいります。

2. ICT教育の推進

デジタル社会の実現に向けた改革が急速に進められております。

本町のICT教育においても、周囲に取り残されることのないようGIGAスクール構想をしっかりと進めるため、各学校1台の電子黒板の導入、デジタル教科書の試行、AI型ドリル等が搭載されたeライブラリアドバンスの活用による学習支援、町内小中学校間や経済交流都市である宮崎県都農町の小学校等とのWEB交流やオンライン授業などに取り組んでまいります。

また「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙」の分析において、ゲームの時間が長く自宅学習時間が短い現状を踏まえ、各家庭のご協力をいただきながら、タブレット端末の持ち帰りによる生活習慣の定着などに取り組んでまいります。

3. 特別支援教育の充実

特別支援教育の充実については、特別支援員をすべての学校に配置し、個別の指導計画に基づき、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援をしっかりと行ってまいります。

佐呂間小学校のことばの教室においては、一部言語発達に遅滞のある児童のため、一人ひとりに応じた支援に努めてまいります。

4. 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

子どもたちが自らを律しつつ、自己を確立し、他者を思い遣る心や感動する心など豊かな人間性を備えた人として育ち、自ら考え主体的に生きていくことは、社会全体の願いであります。

道徳教育はもとより、将来どこに住むことになったとしても、いつまでも「ふるさと佐呂間町」に思いを馳せることを願い、佐呂間町にゆかりのある社会人による授業に新たに取り組んでまいります。

いじめ・不登校等の問題については、子どもたちの些細な変化を見逃さず、保護者の悩みに向き合うため、スクール・カウンセラーや教育相談員による心のケアや、相談・支援の充実等を図ってまいります。

5. 学校給食と心身の健やかな成長

学校給食は、子どもたちの心身の健全な発達に資するものであります。栄養教諭による食育とともに、できる限り地場産物を活用し、生産者・流通販売者との対話を大切にした、「おいしく安心安全な佐呂間町ふるさと給食」を目指してまいります。

食物アレルギーの対応については、医師の診断に基づくアレルギー対応食を提供してまいります。

給食費につきましては、物価高騰の影響により令和5年度より1食当たり10円の値上げをさせていただきますが、児童生徒については引き続き無償化とし、子育て支援を図ってまいります。

併せて、子どもたちが自ら進んで運動する習慣の定着に取り組んでまいります。

6. 働き方改革の推進及び学校の組織力の向上

学校教育の成否は、直接の担い手である教員にかかっていると一言でも過言ではありません。

昨年10月には、管内でも先がけて今年度前期の時間外勤務の状況を公表いたしました。毎月の状況を各学校長としっかり共有し、具体の改善の在り方を各学校長と協議してまいります。

今後も定期的に時間外勤務の状況を公表し、教員がやりがいを感じ、子ども達と向き合う時間を確保することができるよう、教職員の働き方改革に取り組んでまいります。

併せて、学校教育指導を行う教育局への指導主事派遣要請や各種研修会への参加奨励を行い、質の高い教育の実現に向けて、指導力の向上や、学校の組織力の向上を目指してまいります。

7. 0歳から18歳までを見通した教育及び部活動の地域移行

保育所における遊びや生活の中での気づきから、小学校における探究の学びへの連携・接続は、子ども達の発達において大変重要です。

そのため、0歳から18歳までを見通した学びの連続性に配慮しつつ、保育所と小学校の接続の課題を「保小接続会議」を新たに立ち上げ検討を開始いたします。

また、中1ギャップの解消等のため、現在の学校は存続しつつ小中学校9年間連続した教育課程を編成する「併設型小中一貫校」の検討も新たに進めてまいります。

部活動の地域移行についても、新たに「検討会議」を立ち上げ、子ども達のニーズを第一に、しっかりと検討を進めてまいります。

8. 佐呂間高等学校支援対策

佐呂間高等学校は、町内唯一の高等学校であります。

今後更に中学生の減少が進むことから、佐呂間高等学校存続の危機意識をよりいっそう強く持たなければなりません。

各種制度等に基づき、「大学進学者に年額50万円、短期大学・専門学校進学者に年額25万円の支給」「入学生後に対する一人一律10万円の支給」「卒業後の就職等準備資金一人一律10万円の支給」を継続してまいります。

また、「模擬試験・資格取得検定受験料の全額負担」「部活動遠征費及び体育文化活動費の補助」「アラスカ州バーマ市への派遣補助」「教科書の無償提供」「学習用タブレット端末購入費の補助」の支援も引き続き講じてまいります。

なお、一人でも多くの生徒に佐呂間高等学校への進学を希望してもらうためには、魅力ある高校づくりが肝要です。地域魅力発見事業である「佐呂間高校生フォトコンテスト」の継続や、大学教員による講義等の実施に加え、高等学校存続対策協議会において関係者の皆様と協議を重ねてまいります。

◎社会教育の推進

1. 社会教育の推進

社会教育については、佐呂間町社会教育目標を基底とする第8次佐呂間町社会教育中期計画を踏まえ、町民の自発的・主体的な学習の支援、乳幼児から高齢者までのニーズに応じた幅広い事業展開、交流活動への参加、体験機会の充実に努めてまいります。

また、学校教育と社会教育が一層連携し、学校・家庭・地域が深く結びついた社会教育事業を展開してまいります。

芸術・文化は生活を明るく豊かにするものであります。文化講演会や鑑賞事業の開催により、芸術文化に満ち溢れた「まちづくり」を推進し、町内外への情報発信に努めてまいります。

2. 図書館事業の推進

図書館事業については、子どもたちへの絵本の読み聞かせ、成人式での本の贈呈など、本に親しむ取組を引き続き進めてまいります。

また、移動図書館車あおぞら号による巡回、絵本原画展やボランティアサークルによる人形劇公演の開催、子ども向けの工作やクイズ等のイベントの実施により、本への関心向上や図書館の利用促進に取り組んでまいります。

また、安心して快適な図書館を目指し、図書除菌器や閲覧室の冷房設備設置を進めてまいります。

学校との連携は、学校の図書担当教諭と協力して学校図書室の整理を行い、児童生徒が利用しやすい図書室づくりと読書活動の推進に取り組んでまいります。

このほか、「図書館だより」等により、図書館情報を広く提供し、図書館サービスの充実に努めてまいります。

3. 社会体育の推進

スポーツは、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものであり、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであります。


そのため、各種スポーツ活動の支援や環境の整備に努め「生涯スポーツの町宣言」に沿ったスポーツの振興を図ってまいります。

社会体育の中核施設である武道館・温水プールについては、指導の充実に図り、町民の体力・健康づくりの場として様々な事業に取り組んでまいります。


◎教育関係施設の整備

学校、図書館、給食センター、武道館・温水プールなどの教育関係施設の整備については、令和3年度からスタートした「第5期佐呂間町総合計画」を基本として、限られた財源を効果的に活用しながら、より長く活用できる施設整備に取り組んでまいります。


なお、各工事期間中はご不便をおかけいたしますが、よろしくご協力いただきますようお願い申し上げます。

佐呂間小学校				校			
所在地	常呂郡佐呂間町字幸町1番地の1			章			
創立年月日	平成18年 4月 1日						
沿革	平成18年 4月 1日	佐呂間町学校再編成により旧佐呂間小・知来小・仁倉小・若里小・富武士小が、新「佐呂間小学校」として開設される					
	平成19年 4月 9日	佐呂間町学校給食センター開設により給食開始					
	平成21年 4月	二学期制実施					
	平成25年 4月	言語障害通級指導教室（ことばの教室）開設					
教職員等	校長	二神 孝久		教諭	工藤 学	言語通級	
	教頭	大平 博司		教諭	久保 とも子	言語通級	
	教諭	阿部 翔平	1年	教諭	齋藤 潤	専科	
	教諭	古間木由貴子	2年	教諭	吉田 康祐	専科	
	教諭	河合 建弥	3年	養護教諭	近藤 榮保		
	教諭	水口 志徳	4年	栄養教諭	大島 智恵		
	教諭	尾関 由未奈	5年	事務職員	八木 崇		
	教諭	両川 明博	6年1組	公務補	富田 正之		
	教諭	畠山 素彦	6年2組	特別支援員	宮崎 美知子		
	教諭	菅 芳香	学習支援室	特別支援員	天野 朋子		
	教諭	坂本 香織	学習支援室	特別支援員	津村 接美		
	教諭	岩本 昂己	学習支援室	特別支援員	本田 まゆみ		
	教諭	岩田 治	学習支援室	特別支援員	堀内 靖子		
	教諭	江口 千裕	学習支援室	特別支援員	堀内 靖子		
	教諭	米村 麻美	学習支援室				
教諭	長谷川 忍	学習支援室					
児童数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数	
	1年	20	1	5年	18	1	
	2年	13	1	6年	34	2	
	3年	15	1	特別支援	13	7	
	4年	17	1	合計	130	14	
学校運営協議会	山保 浩之	杉山 友洋	三田 真美	高橋 紀久			
	船木 英理子	二神 孝久	大平 博司				
PTA	会長	杉山 友洋		事務局	大平 博司(教頭)		
	副会長	菊地 等		会計	惣田 正		
	副会長	渋谷 明		会計	八木 崇(事務)		
	事務局長	五十嵐 正人					

教育目標	わたしたちは、 ふるさとの 大地に立つ 伸びゆく サロマの子です。 ・すすんで まなぶ子 ・たすけあう やさしい子 ・げんきで たくましい子																																																																																																																								
重点目標	自立した児童の育成																																																																																																																								
研究主題	主体的に学び、高め合う子どもの育成 ～学ぶ力を育てる授業づくりを通して～																																																																																																																								
基本的な日課	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:00</td> <td>登校</td> <td>登校</td> <td>登校</td> <td>登校</td> <td>登校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>朝学習</td> <td>朝学習</td> <td>朝学習</td> <td>朝学習</td> <td>朝学習</td> </tr> <tr> <td>8:25</td> <td>学級朝の会</td> <td>学級朝の会</td> <td>学級朝の会</td> <td>学級朝の会</td> <td>学級朝の会</td> </tr> <tr> <td>8:35</td> <td>1時間目</td> <td>1時間目</td> <td>1時間目</td> <td>1時間目</td> <td>1時間目</td> </tr> <tr> <td>9:20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9:25</td> <td>2時間目</td> <td>2時間目</td> <td>2時間目</td> <td>2時間目</td> <td>2時間目</td> </tr> <tr> <td>10:10</td> <td>自由遊び 集団活動</td> <td>自由遊び 集団活動</td> <td>自由遊び 集団活動</td> <td>自由遊び 集団活動</td> <td>自由遊び 集団活動</td> </tr> <tr> <td>10:30</td> <td>3時間目</td> <td>3時間目</td> <td>3時間目</td> <td>3時間目</td> <td>3時間目</td> </tr> <tr> <td>11:15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11:20</td> <td>4時間目</td> <td>4時間目</td> <td>4時間目</td> <td>4時間目</td> <td>4時間目</td> </tr> <tr> <td>12:05</td> <td>給食</td> <td>給食</td> <td>給食</td> <td>給食</td> <td>給食</td> </tr> <tr> <td>12:40</td> <td>昼休み</td> <td>昼休み</td> <td>昼休み</td> <td>昼休み</td> <td>昼休み</td> </tr> <tr> <td>13:05</td> <td>講義</td> <td>講義</td> <td>講義</td> <td>講義</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>13:25</td> <td>5時間目</td> <td>5時間目</td> <td>5時間目</td> <td>5時間目</td> <td>5時間目</td> </tr> <tr> <td>14:10</td> <td>学級朝りの会</td> <td>学級朝りの会</td> <td>学級朝りの会</td> <td>学級朝りの会</td> <td>朝りの会 運動</td> </tr> <tr> <td>14:15</td> <td>6時間目</td> <td>6時間目</td> <td></td> <td>6時間目</td> <td>14:25</td> </tr> <tr> <td>15:00</td> <td>学級朝りの会</td> <td>学級朝りの会</td> <td></td> <td>学級朝りの会</td> <td>クラブ活動 児童委員会</td> </tr> <tr> <td>16:15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>16:10</td> </tr> <tr> <td>16:30</td> <td>最終下校</td> <td>最終下校</td> <td>最終下校</td> <td>最終下校</td> <td>最終下校</td> </tr> </tbody> </table>		月	火	水	木	金	8:00	登校	登校	登校	登校	登校		朝学習	朝学習	朝学習	朝学習	朝学習	8:25	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	8:35	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	9:20						9:25	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目	10:10	自由遊び 集団活動	自由遊び 集団活動	自由遊び 集団活動	自由遊び 集団活動	自由遊び 集団活動	10:30	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目	11:15						11:20	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目	12:05	給食	給食	給食	給食	給食	12:40	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	13:05	講義	講義	講義	講義	講義	13:25	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目	14:10	学級朝りの会	学級朝りの会	学級朝りの会	学級朝りの会	朝りの会 運動	14:15	6時間目	6時間目		6時間目	14:25	15:00	学級朝りの会	学級朝りの会		学級朝りの会	クラブ活動 児童委員会	16:15					16:10	16:30	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校
	月	火	水	木	金																																																																																																																				
8:00	登校	登校	登校	登校	登校																																																																																																																				
	朝学習	朝学習	朝学習	朝学習	朝学習																																																																																																																				
8:25	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会	学級朝の会																																																																																																																				
8:35	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目	1時間目																																																																																																																				
9:20																																																																																																																									
9:25	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目	2時間目																																																																																																																				
10:10	自由遊び 集団活動	自由遊び 集団活動	自由遊び 集団活動	自由遊び 集団活動	自由遊び 集団活動																																																																																																																				
10:30	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目	3時間目																																																																																																																				
11:15																																																																																																																									
11:20	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目	4時間目																																																																																																																				
12:05	給食	給食	給食	給食	給食																																																																																																																				
12:40	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み																																																																																																																				
13:05	講義	講義	講義	講義	講義																																																																																																																				
13:25	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目	5時間目																																																																																																																				
14:10	学級朝りの会	学級朝りの会	学級朝りの会	学級朝りの会	朝りの会 運動																																																																																																																				
14:15	6時間目	6時間目		6時間目	14:25																																																																																																																				
15:00	学級朝りの会	学級朝りの会		学級朝りの会	クラブ活動 児童委員会																																																																																																																				
16:15					16:10																																																																																																																				
16:30	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校	最終下校																																																																																																																				
校歌	<p style="text-align: right;">佐呂間小学校校歌</p> <p style="text-align: right;">作詞 作曲 松田 彰光</p> <p style="text-align: center;">一 朝は輝く 光を浴びて 希望を胸に 通う路 声かけ合って 手を結び みんなで創ろう 佐呂間小</p> <p style="text-align: center;">二 花も草木も 小鳥の声も みんなやさしく 包み合う 自然の息吹 受けとめて みんなで歩もう 佐呂間小</p> <p style="text-align: center;">三 汐の香匂う 佐呂間の湖に 大きな夢を 盛りつつ 育つ心を 大切に みんなで学ぼう 佐呂間小</p>																																																																																																																								

若 佐 小 学 校				校 章			
所 在 地	常呂郡佐呂間町字中園38番地の1				校 章		
創 立 年 月 日	平成18年 4月 1日						
沿 革	平成18年 4月 1日	佐呂間町学校再編成により、旧栄小学校と若佐小学校が、新「若佐小学校」として開設される					
	平成18年 4月 6日	開校式 校旗・校章制定					
	平成18年 7月27日	旧若佐中学校校舎へ移転					
	平成18年 8月21日	校門除幕式					
	平成19年 4月 9日	佐呂間町学校給食センター開設により給食開始					
	平成21年 4月	二学期制実施					
教 職 員 等	校 長	小林 冬 季		養 護 教 諭	佐久間 梨 緒		
	教 頭	日 村 航		事 務 職 員	鎌 土 卓 美		
	教 諭	清 水 政 臣	1・2年	公 務 補	本 間 篤 史		
	教 諭	三 野 愛 莉	3・4年	特 別 支 援 員	村 山 知 佐		
	教 諭	落 合 真 奈 美	自 情 学 級	時 間 講 師	村 井 栄 子		
	教 諭	橋 場 哉 子	知 的 学 級	教 育 業 務 支 援 員	田 村 巧		
	教 諭	武 本 太	5・6年				
児 童 数	学 年	児 童 数	学 級 数	学 年	児 童 数	学 級 数	
	1 年	2	1	5 年	6	1	
	2 年	3		6 年	5		
	3 年	4	1	特 別 支 援	4	2	
	4 年	8		合 計	32	5	
学 校 運 営 協 議 会 委 員	佐々木 孝三郎	千 葉 義 則	渡 部 洋	田 宮 英 明			
	長 澤 耕 之 輔	安 藤 誠 司	小 林 冬 季	日 村 航			
P T A	会 長	長 澤 耕 之 輔		会 計	守 口 智 美		
	副 会 長	谷 口 元 氣		会 計	鎌 土 卓 美		
	副 会 長	平 戸 達 也		事 務 局 長	日 村 航		
	副 会 長	今 部 美 香					

教育目標	<input type="checkbox"/> 考える子 …………… (知) 【本気】 ・自ら学び、創り出す <input type="checkbox"/> 助け合う子 …………… (徳) 【勇気】 ・自他の立場を考え、協力する <input type="checkbox"/> 強い体の子 …………… (体) 【根気】 ・心身ともに健康でたくましく最後までやりぬく
重点目標	『伝え合い、話し合い、つくり合おう』
研究主題	自ら学び共に高めあう子どもの育成 ～「コミュニケーション能力の向上」を目指した授業構成～
基本的な日課	児童登校 7:30 ～ 8:05 朝の活動 8:05 ～ 8:25 朝の会 8:25 ～ 8:35 1校時 8:35 ～ 9:20 2校時 9:25 ～ 10:10 中休み 10:10 ～ 10:25 3校時 10:30 ～ 11:15 4校時 11:20 ～ 12:05 昼食 12:05 ～ 12:50 昼休み 12:50 ～ 13:05 清掃 13:10 ～ 13:25 5校時 13:30 ～ 14:15 帰りの会 14:15 ～ 14:25 6校時 14:25 ～ 15:10 児童下校 15:30
校歌	<div style="text-align: right;">若佐小学校校歌</div> <div style="text-align: right;">小林幸男 作詞 大野恒一 作曲</div> <div style="text-align: center;"> <p>一 朝空あおく 風かおり 緑に映える 佐呂間山 みんな明るい 元気な子 われらの若佐小学校</p> <p>二 武士の流れ 水清く 心のちりを 洗いさり 清く爽直に 伸びゆく子 われらの若佐小学校</p> <p>三 桜花のひかる この庭に 澄みむゆく心 歌として みんな仲よく 正しい子 われらの若佐小学校</p> </div>

浜佐呂間小学校				校章		
所在地		常呂郡佐呂間町字浜佐呂間167番地				
創立年月日		平成18年 4月 1日				
沿革	平成18年 4月 1日	学校再編成により旧浜佐呂間小学校区、旧幌岩小学校校区を合併し、新「浜佐呂間小学校」として設立				
	平成18年 4月 6日	開校式 校旗・校歌制定4学級 35名				
	平成19年 4月 9日	佐呂間町学校給食センター開設により給食開始				
	平成21年 4月	二学期制実施				
教職員等	校長	佐々木 寿彦		事務職員	小野 夏花	
	教頭	上野 さえ子	5・6年	公務補	桜井 茂	
	教諭	樋口 誠	特別支援	特別支援員	神崎 律子	
	教諭	山田 純子	1・2年	学習指導員	岩城 巖	
	教諭	岩本 和侑	3・4年	学校支援員	宮島 千秋	
	養護教諭	林 由美子				
児童数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数
	1年	3	1	5年	1	1
	2年	1		6年	1	
	3年	3	1	特別支援	1	1
	4年	4		合計	14	4
学校運営委員会	村岡 竹雄	佐々木 秀章	藤原 一成	諸岡 篤史		
	井上 誠	堀米 拓也	佐々木 寿彦	上野 さえ子		
PTA	会長	矢島 大樹		生活部長	夏川 貴夫	
	副会長	堀米 拓也		文化部長	土門 伸介	
	監査	諸岡 篤史		事務局長	上野 さえ子	
	監査	齊藤 直哉		会計	小野 夏花	

教育目標	明日の郷土を拓くたくましい子ども 学ぶ子 心豊かな子 健やかな子																																													
重点目標	『短文の主旨を的確につかめる子』																																													
研究主題	主体的に学び、考え方を伝え合い、深め合うことのできる子どもの育成 ～効果的なICT機器の活用実践を目指して～																																													
基本的な日課	<table> <tr><td>職員出勤</td><td>8:00</td><td></td></tr> <tr><td>児童登校</td><td>8:05</td><td></td></tr> <tr><td>職員朝会・朝学習</td><td>8:05</td><td>～ 8:25</td></tr> <tr><td>朝の会</td><td>8:25</td><td>～ 8:35</td></tr> <tr><td>1校時</td><td>8:35</td><td>～ 9:20</td></tr> <tr><td>2校時</td><td>9:25</td><td>～ 10:10</td></tr> <tr><td>3校時</td><td>10:30</td><td>～ 11:15</td></tr> <tr><td>4校時</td><td>11:20</td><td>～ 12:05</td></tr> <tr><td>給食</td><td>12:05</td><td>～ 12:45</td></tr> <tr><td>清掃</td><td>12:45</td><td>～ 13:00</td></tr> <tr><td>昼休み</td><td>13:00</td><td>～ 13:20</td></tr> <tr><td>5校時</td><td>13:20</td><td>～ 14:05</td></tr> <tr><td>6校時</td><td>14:10</td><td>～ 14:55</td></tr> <tr><td>帰りの会</td><td>14:55</td><td>～ 15:05</td></tr> <tr><td>下校</td><td>15:15</td><td></td></tr> </table>	職員出勤	8:00		児童登校	8:05		職員朝会・朝学習	8:05	～ 8:25	朝の会	8:25	～ 8:35	1校時	8:35	～ 9:20	2校時	9:25	～ 10:10	3校時	10:30	～ 11:15	4校時	11:20	～ 12:05	給食	12:05	～ 12:45	清掃	12:45	～ 13:00	昼休み	13:00	～ 13:20	5校時	13:20	～ 14:05	6校時	14:10	～ 14:55	帰りの会	14:55	～ 15:05	下校	15:15	
職員出勤	8:00																																													
児童登校	8:05																																													
職員朝会・朝学習	8:05	～ 8:25																																												
朝の会	8:25	～ 8:35																																												
1校時	8:35	～ 9:20																																												
2校時	9:25	～ 10:10																																												
3校時	10:30	～ 11:15																																												
4校時	11:20	～ 12:05																																												
給食	12:05	～ 12:45																																												
清掃	12:45	～ 13:00																																												
昼休み	13:00	～ 13:20																																												
5校時	13:20	～ 14:05																																												
6校時	14:10	～ 14:55																																												
帰りの会	14:55	～ 15:05																																												
下校	15:15																																													

浜佐呂間小学校 校歌

作詞・作曲 松田 彰光

一 木々のざわめき 背に受けて

笑み交わし 集う庭

仲間の絆 伝えつつ

創ろう我等の

浜佐呂間小学校

二

広き海原 オホーツク

波は奏でる 凧の音を

明日の夢に 羽ばたこう

創ろう我等の

浜佐呂間小学校

三


夕日に映える サロマ湖は

清き心を 写しだす


尊き知恵を 学びつつ

創ろう我等の

浜佐呂間小学校

佐呂間中学校				校		
所在地	常呂郡佐呂間町字幸町9番地の1			章		
創立年月日	昭和22年 5月 1日					
沿革	昭和22年 5月 1日	佐呂間村立中佐呂間中学校として開校				
	昭和28年 4月 1日	町制施行・字名変更により佐呂間町立佐呂間中学校と改称				
	昭和40年 4月 1日	若里中学校・知東中学校・富武士中学校を統合				
	昭和41年 4月 1日	仁倉中学校を統合				
	平成11年 4月 1日	幌岩中学校を統合				
	平成18年 4月 1日	若佐中学校・浜佐呂間中学校を統合				
教職員等	校長	安田吉雄		教諭	渡辺慎司	情緒
	教頭	石崎俊英		養護教諭	兵頭真紀	
	教諭	佐々木 睦明	1-A担任	事務職員	加葉田 克哉	
	教諭	古 笠 遼	1-副	公務補	中村 宏	
	教諭	大浦 泰廣	2-A担任	特別支援員	笹川 里美	SSS兼任
	教諭	日笠 竜一	2-副	特別支援員	安藤 由紀恵	
	教諭	酒井 奈央	2-副	特別支援員	幸松 真弓	
	教諭	平馬 裕	3-A担任	ｽｸｰﾙｲﾝﾃｰ	小林 勝則	
	教諭	藤田 洋平	3-副	(育休)	ホーランド淑恵	
	教諭	谷口 詩歩	3-副	(育休)	小杉 いおり	
	教諭	細川 浩	知的			
	教諭	深川 敬史	情緒			
生徒級数	学 年	生徒数	学級数	部 活 動 の 状 況		
	1 年	32	1	野 球 部		
	2 年	36	1	サ ッ カ ー 部		
	3 年	40	1	男子バスケットボール部		
	特別支援	6	2	女子バレーボール部		
	合 計	114	5	吹 奏 楽 部		
学校運営協議会委員	会長	尾崎 実		南保 清美		石川 勝義
	副会長	小池 一史		安藤 由		安田 吉雄
	委員	為 広 裕 司		山前 美結		石崎 俊英
PTA	会長	石川 勝義		副会長		山口 多美子
	副会長	大室 富幸		事務局長		石崎 俊英

教育目標	<p>ともに磨き合い、たくましく生きる人を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学ぶ生徒（知） ・思いやりのある生徒（徳） ・たくましい生徒（体） 																												
経営の重点	<ol style="list-style-type: none"> 1 将来の幸せにつながる力の育成（社会で生きる、思考とコミュニケーション） 2 すべての授業で考える・伝えあう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりや友達の話や説明を聞く機会をつくる。 ・ICTの特性の有効活用。 ・正しく読み取る力の向上 ・きそてきながくりよくの定着 3 授業以外の部活動・行事・生徒会で考える・伝えあう。 <ul style="list-style-type: none"> ・目標を共有する ・合意形成 ・計画を立て実行する。 ・ふりかえり改善する。 4 教師の働きかけを大切にす。 <ul style="list-style-type: none"> ・全員が担任という認識と安心できる集団づくりを推進する。 ・良質な発問と持つ忍耐力を持つ。 ・ICT機器を活用する。授業改善に直結する研修を行う。 5 地域人材・施設の活用を積極的に行う。 6 組織的なふりかえりを促進させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程検討委員会で評価項目の見直しを行う。 ・保護者アンケート、教職員自己評価、生徒がんばったアンケート（7月・12月）を実施し、公開する。 ・学校運営協議会（年4回）実施する。 																												
研究主題	<p>「生徒が自ら考え、伝え合う力を高める学習指導の充実」 ～新学習指導要領の趣旨を取り入れた学び合う場の充実～ 3年計画の第3年次</p>																												
基本的な日課	<table border="0"> <tr> <td>朝自習</td> <td>8:10 - 8:15</td> <td>昼休み</td> <td>12:50 - 13:05</td> </tr> <tr> <td>短学活</td> <td>8:15 - 8:20</td> <td>5校時</td> <td>13:10 - 14:00</td> </tr> <tr> <td>1校時</td> <td>8:30 - 9:20</td> <td>6校時</td> <td>14:10 - 15:00</td> </tr> <tr> <td>2校時</td> <td>9:30 - 10:20</td> <td>短学活</td> <td>15:05 - 15:15</td> </tr> <tr> <td>3校時</td> <td>10:30 - 11:20</td> <td>清 掃</td> <td>15:15 - 15:30</td> </tr> <tr> <td>4校時</td> <td>11:30 - 12:20</td> <td>下 校</td> <td>15:30</td> </tr> <tr> <td>昼 食</td> <td>12:20 - 12:50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	朝自習	8:10 - 8:15	昼休み	12:50 - 13:05	短学活	8:15 - 8:20	5校時	13:10 - 14:00	1校時	8:30 - 9:20	6校時	14:10 - 15:00	2校時	9:30 - 10:20	短学活	15:05 - 15:15	3校時	10:30 - 11:20	清 掃	15:15 - 15:30	4校時	11:30 - 12:20	下 校	15:30	昼 食	12:20 - 12:50		
朝自習	8:10 - 8:15	昼休み	12:50 - 13:05																										
短学活	8:15 - 8:20	5校時	13:10 - 14:00																										
1校時	8:30 - 9:20	6校時	14:10 - 15:00																										
2校時	9:30 - 10:20	短学活	15:05 - 15:15																										
3校時	10:30 - 11:20	清 掃	15:15 - 15:30																										
4校時	11:30 - 12:20	下 校	15:30																										
昼 食	12:20 - 12:50																												
校 歌	<p style="text-align: right;">佐呂間中学校校歌</p> <p>一、遠峰はるか雲もえて 光さやけき 朝空に 希望あふるる窓あけて 建てるは佐呂間中学校</p> <p>二、湖白く 風落ちて 星もほほえむ 夕なぎに 幸ある日々をたたえつつ 胸くみかわすわれらなり</p> <p>三、嵐にめげず 雪こえて 真実に生きたる若人が 壁 固く 扉あけて 踏みゆく大地下萌えん</p> <p>（昭和二十七年八月二十五日制定）</p>																												

北海道佐呂間高等学校				校		
所在地	常呂郡佐呂間町字北311番地の1			章		
創立年月日	昭和23年11月25日					
沿革	昭和23年11月25日	道立遠軽高等学校佐呂間分校として開校（定時制）				
	昭和26年 4月 1日	佐呂間村立佐呂間高等学校となる				
	昭和28年 4月 1日	町制施行により佐呂間町立佐呂間高等学校となる				
	昭和30年 4月 1日	農業科設置				
	昭和37年 4月 1日	全日制課程新設				
	昭和39年 3月31日	道立移管 北海道佐呂間高等学校となる				
	昭和54年 2月28日	定時制閉課				
	昭和55年10月10日	創立30周年記念式典・校舎改築落成記念式典				
	昭和58年 3月 7日	網走管内教育実践表彰受賞				
	昭和58年 9月22日	網走管内社会福祉事業功労賞（団体）受賞				
	昭和59年 2月10日	北海道教育実践表彰受賞				
	平成元年12月15日	屋内体育館完成（966.48㎡）				
	平成3年 4月 1日	全日制普通科1間口減、2間口となる				
	平成10年 3月 1日	校訓制定				
	平成10年10月18日	創立50周年記念式典挙行				
	平成11年 2月 7日	平成10年度網走管内教育実践表彰受賞				
	平成13年 2月 5日	平成12年度北海道社会貢献賞を受賞				
	平成19年11月15日	平成19年度全国学校体育研究優良校表彰受賞				
	平成20年 7月 3日	北海道教育委員会環境教育プロジェクト校指定				
	平成22年 6月22日	北海道教育委員会「高1クライシス未然防止事業」指定				
平成26年 4月 1日	全日制普通科1間口減、1間口となる					
平成27年 4月 1日	北海道教育委員会より「地域キャンパス校」の指定を受ける					
平成30年 4月 1日	北海道教育委員会より「地域連携特例校」の指定を受ける					
令和3年 4月 1日	北海道高等学校遠隔授業配信センター（J-base）より遠隔授業の配信を受ける					
職員等	校長	山崎 逸子		教諭	原子 俊介	1-A担任(国語)
	教頭	清水谷ゆきえ		養護教諭	後藤 里緒	
	事務長	松本 哲也		事務主任	本間由己子	
	教諭	奥山 輝久	(数学)	主事(非常勤)	大橋 純子	
	教諭	関根 哲也	2-A担任(商業・情報)			
	教諭	猪口 敏之	(保健体育)			
	教諭	長野 智幸	(理科)			
	教諭	竹岡 綾子	(家庭)			
	教諭	渡辺 知陽	(英語)			
	教諭	法邑 亘祐	(地公)			
教諭	橋本 結衣	3-A担任(音楽)				
生徒数	学年	生徒数	学級数	部活動の状況		
	1年	20	1	サッカー	吹奏楽局	
	2年	25	1	テニス	放送局	
	3年	25	1	バドミントン		
	合計	70	3	バスケットボール		
学校評議委員	大谷 宏明			名 雪 公 洋		
	鈴 鹿 保			松 本 真 嗣		
	田 宮 俊 之					

P T A	会長	阿部 真		会計	野村 均	
	副会長	石村 健二		会計	松本 哲也	
	監事	藤田 由紀子		事務局長	清水谷 ゆきえ	
校 訓	郷湖大地に学び自らの道を拓け					
教 育 目 標	1 自主性を高め、創造的な知性を持つ人となる。 2 豊かな情操を持ち、礼儀正しい人となる。 3 勤労を尊び、奉仕を喜ぶ人となる。 4 生命の尊さを知り、健康でたくましい人となる。					
教 育 の 方 針	1. スクール・ミッション (1) 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成 (2) サロマ湖を擁する豊かな自然の中で、人とのつながりを大切に、夢の実現を目指して地道に努力する生徒の育成 2. スクール・ポリシー ・幅広い知識、社会人基礎力を身に付け、自らの進路や社会の未来を切り拓く力と豊かな人間性を備えた人物の育成を目指します。 ・確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、変化する社会に対応する力を養うため、次の教育を行います。 (1) 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業により、確かな学力を(※1)育みます。 ※1 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③学びに向かう力 (2) 探究的な教育活動によるキャリア教育を展開し、社会人基礎力を(※2)養成します。 ※2 ①自ら挑戦する力 ②最後までやり通す力 ③他者と協働する力 (3) 地域の教育資源を活用し、未来を担う多様な人間性豊かな人材を、地域と共に育成します。 (4) 地域連携特例校のメリットを活かし、ICTを活用した遠隔授業や他校との合同学習の機会を充実させ、協働的な学びを推進します。 (5) きめ細やかで個別最適な学習指導により、生徒の良さや可能性を引き出し、希望進路の実現を目指します。					
研 究 主 題	家庭・地域から信頼され、必要とされる学校の実現					
基 本 的 な 日 課	SHR	8:30～	8:40	昼食	12:40～	13:15
	1校時	8:50～	9:40	5校時	13:15～	14:05
	2校時	9:50～	10:50	6校時	14:15～	15:05
	3校時	10:50～	11:50	SHR	15:05～	15:15
	4校時	11:50～	12:40	清掃	15:15～	15:30
校 歌	佐呂間高等学校校歌 大いなる 希望を呼びて 雲青く 流るるところ 明るき窓 遠く開き 若き詩り 毅然たる あゝ高校 わが学舎 遙かなる 佐呂間の湖の 水白く 輝くところ 平和の郷 ここに拓き あふるる力 層上げて あゝ我等 いざ進まん 北の国 空すみわたり 星聖く またたくところ 真理の道 とわにたすね 尊き使命 果たすべく あゝ高き 我等が理想					

学校教育関係団体

○佐呂間町校長会

会 長	副 会 長	事 務 局 長	会 計
佐呂間小学校 二 神 孝 久	佐呂間中学校 安 田 吉 雄	浜佐呂間小学校 佐々木寿彦	若佐小学校 小 林 冬 季

○佐呂間町教頭会

会 長	副 会 長	事 務 局 長	会 計
佐呂間中学校 石 崎 俊 英	佐呂間小学校 大 平 博 司	若佐小学校 日 村 航	浜佐呂間小学校 上 野 さ え 子

○佐呂間町学校教育運営協議会

会 長	事 務 局	備 考
佐呂間小学校 二 神 孝 久	佐 呂 間 小 学 校	

○佐呂間町特別支援教育推進協議会

会 長	事 務 局	備 考
佐呂間中学校 安 田 吉 雄	佐 呂 間 中 学 校	

○佐呂間町複式教育研究連盟

委 員 長	事 務 局	備 考
若佐小学校 小 林 冬 季	若 佐 小 学 校	

統合校の沿革

○栄小学校（平成18年 若佐小学校へ再編）

栄小学校校歌（作詞：河合義巳・作曲：河本二三夫）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>進永黄学め ひ強と高北 明冬岸よ旭 む久金びぐ びくどい斗 けを辺せ 峰 栄のな まし林想の て忽にて の 小し な くにを 教んだ 芽生れ 雪 学あ み び え の 断 佐 校わ う び の 花 開 呂 つ な の 開 努 寿 せ が 庭 の 力 草 間 山 は の 光 立 の 水 映 え び の つ 取 の の ら 行 立 っ け の が て の っ た て 川 ら て 庭 っ っ っ の 見 見 道 っ っ っ の せ せ に た た た の る る に っ っ っ の</p>	明治43年11月1日	沙留間教育所所属「下佐呂間教授所」として開設
	大正3年6月24日	武士教育所付属に所属変更
	大正4年3月25日	上佐呂間尋常小学校に昇格
	大正12年4月5日	高等科を併置し上佐呂間尋常高等小学校となる
	昭和16年4月1日	上佐呂間国民学校と改称
	昭和22年4月1日	新学制施行により佐呂間村立上佐呂間小学校となる
	昭和22年5月1日	佐呂間村立上佐呂間中学校を併置
	昭和23年4月1日	分村により若佐村立上佐呂間小中学校となる
	昭和24年11月1日	中学校が若佐中学校に統合し若佐中学校上佐呂間分校となる
	昭和27年3月31日	若佐中学校上佐呂間分校が廃止され上佐呂間小学校となる
昭和30年4月1日	字名変更により栄小学校と改称	
昭和31年9月30日	佐呂間町との合併により佐呂間町立栄小学校となる	

○知来小学校（平成18年 佐呂間小学校へ再編）

知来小学校校歌（作詞：鷺頭信五・作曲：三島通敏）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>そ真オほ 修光群紅 勵燃流青 の事ホえる めるれ黄 みえれい 名一― 磨夕な 学るも山 称途ツ北 か風く錦 ば朝響垣 えにク風 ん 牛 ん雲く 匂 ん の 身 の 匂 匂 潮 凍 知 仰 学 う 知よ る 来 来 来 土 来吾 と 校 校 校 舎 校れ ぎ け 見 見 舎 す て て て て へ 夜 る る る る へ も</p>	明治41年1月31日	鎌池簡易教育所分校川口教授所付属「智来第1特別教授所」として開設
	明治41年4月1日	沙留間教育所に所属変更
	大正3年3月1日	智来教授所に昇格
	大正4年9月8日	智来尋常小学校に昇格
	大正4年11月1日	知来尋常小学校と改称
	昭和16年4月1日	知来国民学校と改称、高等科併置
	昭和22年4月1日	新学制施行により佐呂間村立知来小学校となる
	昭和22年5月1日	佐呂間村立知来中学校を併置
	昭和28年4月1日	町制施行により佐呂間町立知来小中学校となる
昭和41年4月1日	中学校が佐呂間中学校に統合となり知来小学校となる	

○仁倉小学校（平成18年 佐呂間小学校へ再編）

仁倉小学校校歌（作詞：大塚 叢・作曲：渡部三部）	沿革
	明治36年 9月27日 鐘淵勸業教育所分校「川口教授所」として開設（浜佐呂間）
	明治39年 9月15日 現仁倉に移転
	明治41年 4月 1日 沙淵園教育所に昇格
	明治43年11月 1日 下佐呂間尋常小学校に昇格
	大正11年 9月20日 補習科併置
	大正15年 4月 1日 高等科を併置し下佐呂間尋常高等小学校となる
	昭和 5年 1月20日 仁倉尋常高等小学校と改称
	昭和16年 4月 1日 仁倉国民学校と改称
	昭和22年 4月 1日 新学制施行により佐呂間村立仁倉小学校となる
	昭和22年 5月 1日 佐呂間村立佐呂間中学校仁倉分校を併置
	昭和24年10月11日 仁倉中学校が分校から独立し仁倉小中学校となる
	昭和28年 4月 1日 町制施行により佐呂間町立仁倉小中学校となる
	昭和42年 4月 1日 中学校が佐呂間中学校に統合となり仁倉小学校となる

三	二	一
わあ強た穿 れあくぎて ら果るば わた力ま れ鍛さを らえん地 がて友に 仁はよ見 倉選わ 校しれ 校き	わあ壽光拓 れあれるけ らあば湖て わ親水遠 れ敬しを ら愛き丘野 がは友に 仁美よ見 倉しわ 校き	わあ学そ流 れあぶよれ ら日ぎに わ毎明沿 れ懂のるえ られ友く窓 がはよわ柳 仁潔れ見 倉らけ 校け

○梶岩小中学校（梶岩中学校 平成11年 佐呂間中学校へ統合）

（梶岩小学校 平成18年 浜佐呂間小学校へ再編）

梶岩小中学校校歌（作詞：大塚 叢・作曲：山口祐功）	沿革
	明治42年 4月10日 沙淵園教育所付属「梶岩特別教授所」として開設
	大正13年 9月 日 川口尋常小学校「梶岩特別教授所」となる
	昭和 5年 1月20日 川口尋常小学校の校名改称により下佐呂間尋常小学校付属となる
	昭和 6年 4月 1日 梶岩尋常小学校に昇格
	昭和16年 4月 1日 梶岩国民学校と改称
	昭和22年 4月 1日 新学制施行により佐呂間村立梶岩小学校となる
	昭和26年 4月 1日 下佐呂間中学校梶岩分校を併置
	昭和28年 4月 1日 梶岩中学校が分校から独立、中佐呂間中学校浪速分校を統合し梶岩小中学校となる 町制施行により佐呂間町立梶岩小中学校となる
	昭和52年 4月 1日 浪速小学校を統合
	平成11年 4月 1日 中学校が佐呂間中学校に統合となり梶岩小学校となる

三	二	一
賢ゆ岸広 きう辺き 楽べのこ を清あこ らやろ 誓なめは う鐘群さ なりわれろ りわた牛ま り湖の	高枝四学 きを季び 理結のの 想びあ庭 をてら 目天に 指をつく すなき まは ましく	若み恵朝 きどみの 希望のひ を丘かし にり 大 歌こあ山 うなまきに なりいけ りさけ さみく

○富士小学校（平成18年 佐呂間小学校へ再編）

富士小学校校歌（作詞：大塚 豊・作曲：松田喜一）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>わ富強松雲 わ富濟峠丘 わ富遠朝海 れ武いのを れ武いにの れ武望のに ら士身緑をか ら士信雲も ら士望潮に は士体がむ は士よも は士みなが 果富よ 協富友湧 学富よ 寄つた た武心え す士愛いて ぶ武士あ 湖に す士根て うああ 新あ くる ゆあ るあ しあ くる るあ わあ くあ よ ぎこ しく ここ こ なく こ こ こ</p>	<p>大正 4年 4月 1日</p> <p>昭和 3年 4月 1日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和18年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和24年10月11日</p> <p>昭和28年 4月 1日</p> <p>昭和41年 4月 1日</p>	<p>中佐呂間尋常小学校所屬「富士分教所」として開設</p> <p>富士尋常小学校に昇格</p> <p>富士国民学校と改称</p> <p>高等科を配置</p> <p>新学制施行により佐呂間村立中佐呂間中学校富士分校を併置</p> <p>佐呂間村立中佐呂間中学校富士分校を併置</p> <p>富士中学校が分校から独立し富士小中学校となる</p> <p>町制施行により佐呂間町立富士小中学校となる</p> <p>中学校が佐呂間中学校に統合となり富士小学校となる</p>

○若里小学校（平成18年 佐呂間小学校へ再編）

若里小学校校歌（作詞：大塚 豊・作曲：山口祐功）	沿	革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>興勤新明 剛深生傾 高大明潮 す勤な日 き刺気れ きいかな ものりの ものあ射 もなる のの呼 のりす のるか 勤わぶ 深 りひ こ労働 こ刺わ清 こ大ろ ここのら若 ここのれき こいわき に愛の若 鍛命ら朝 になれ湖 創の里明 え讀若影 学るら らん華 ん ば 若 が ン 行 里 り て 手 手 て の の ぞ ぞ み み て て</p>	<p>明治43年 7月22日</p> <p>大正 4年 7月 5日</p> <p>大正12年 7月 1日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和25年11月16日</p> <p>昭和26年 8月 1日</p> <p>昭和28年 4月 1日</p> <p>昭和40年 4月 1日</p>	<p>下湧別村芭露尋常小学校所屬「床丹特別教授場」として開設</p> <p>計呂地教育所に所屬変更</p> <p>床丹尋常小学校に昇格</p> <p>床丹国民学校と改称</p> <p>新学制施行により下湧別村立床丹小学校となる</p> <p>中学校を併置</p> <p>下湧別村との村界変更により佐呂間町に編入。佐呂間村立床丹小中学校と改称</p> <p>学名変更により若里小中学校と改称</p> <p>町制施行により佐呂間町立若里小中学校となる</p> <p>中学校が佐呂間中学校に統合となり若里小学校となる</p>

○若佐小学校（平成18年 若佐小学校再編）

若佐小学校校歌（作詞：小林孝雄・作曲：大野恒一）	沿革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>わみ澄樹 わ清心武 わみ緑朝 れんみ花 れくの士 れんに空 らなむの ら素ちの らな映あ の仲ゆひ の直り流 の明えお 若よくか 若にをれ 若るるく 佐く心る 佐 佐い 風 小 小伸洗水 小 佐呂か 学 学びい清 学 元呂か 校 校ゆさく 校 気間お くり な山り 子 子</p>	<p>明治41年 6月 1日 下佐呂間尋常小学校所属「窪調教授場」として開設</p> <p>大正 3年 4月 27日 武士教育場に昇格</p> <p>大正 3年 9月 5日 武士尋常小学校に昇格</p> <p>大正 5年 5月 10日 補修科併置</p> <p>大正 9年 4月 6日 高等科を併置し、武士尋常高等小学校となる。</p> <p>昭和16年 4月 1日 武士国民学校と改称</p> <p>昭和22年 4月 1日 新学制施行により佐呂間村立武士小学校となる</p> <p>昭和22年 5月 1日 佐呂間村立第2中学校を併置</p> <p>昭和23年 4月 1日 分村により若佐村立武士小中学校となる</p> <p>昭和23年 6月 23日 若佐小中学校と改称</p> <p>昭和24年11月 1日 併置中学校分離独立</p> <p>昭和31年 9月 30日 佐呂間町との合併により佐呂間町立若佐小学校となる。</p> <p>昭和61年 4月 1日 楯木小学校を統合</p>

○佐呂間小学校（平成18年 佐呂間小学校再編）

佐呂間小学校校歌（作詞：大塚みつる・作曲：千葉日出敏）	沿革
<p style="text-align: center;">三 二 一</p> <p>雄競貴白 新海求湖 みき望朝 しいけ樺 たにめ みんよめ霧 い励 なつよ湖 なうよ 霧 意め佐白 潮ら佐 のも朝 霧 気ば呂樺 をなる 夢流佐 霧 が 呂 をれる 呂 晴 間 呼 間 れ 冬小ふ 青 青 学 山 燃の学ぶ せささ ん 雲 校 えて日校く て 呼 雲 校 て く路 る 雲 校 くる る 雲 校</p>	<p>明治40年 6月 15日 錦湯簡易教育所分枝川口教授所の第一特別教授所として開設</p> <p>明治41年 沙留間教育所所属第一特別教授所と改称</p> <p>大正 2年 9月 1日 中佐呂間尋常小学校に昇格</p> <p>大正 4年 4月 1日 中佐呂間尋常小学校所属富士教授場設置</p> <p>大正 7年 5月 25日 中佐呂間尋常小学校と改称</p> <p>大正12年 4月 5日 中佐呂間尋常高等小学校と改称</p> <p>昭和 2年 4月 3日 中佐呂間尋常小学校所属富士教授場が特別教育規定により独立</p> <p>昭和16年 4月 1日 小学校令改正により、常呂郡中佐呂間国民学校となる</p> <p>昭和22年 4月 1日 学制改革により常呂郡佐呂間村立中佐呂間小学校と改称</p> <p>昭和26年 8月 1日 常呂郡佐呂間村立佐呂間小学校と改称</p> <p>昭和28年 4月 1日 町制が施行され、常呂郡佐呂間町立佐呂間小学校と改称</p>

○若佐中学校（平成18年 佐呂間中学校へ統合）

若佐中学校校歌（作詞：大塚 豊・作曲：松田喜一）	沿	革
<p>三 二 一</p> <p>若承明う夕 若通まひ風 若求望はみ 佐け日る映 佐いことびの 佐めあるは つあわえの 来ととき木 若ききれか 若ぎれし の 若てあ合々 若て なか 佐て や 佐 れう 湖 りす 雲と燃え立ち 我等風と清しき 我等明るく 湖はか 中学等に創らん 我等新に愛土 中等磨かん 中学我等 学ばん 眼ざしく</p>	<p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和22年 7月17日</p> <p>昭和23年 4月 1日</p> <p>昭和23年 6月23日</p> <p>昭和24年11月 1日</p> <p>昭和27年 3月31日</p> <p>昭和31年 9月30日</p>	<p>佐呂間村立第2中学校として開校（若佐小学校に併置）</p> <p>武士中学校と改称</p> <p>分村により若佐村立武士中学校となる</p> <p>若佐中学校と改称</p> <p>単置校となり上佐呂間中学校を統合（分校として所属）</p> <p>上佐呂間分校廃止</p> <p>佐呂間町との合併により佐呂間町立若佐中学校となる</p>

○浜佐呂間中学校（平成18年 佐呂間中学校へ統合）

浜佐呂間小中学校校歌（作詞：坂本 亮・作曲：津田 尚）	沿	革
<p>三 二 一</p> <p>こ描よく夕 こ矯はオ澄 こ学あ朝イ のころれや のこばホみ のぼかかワ うこなけ のうたしわ うるぜケ よびいの よくツた よ いにシ い花に 丘たのの 丘しひそ 丘咲あ 雲を のかぞ 空 のかとよ山 のくふそ れま うつ 学を 校知 しか 学夢るる うつ 校を 校知 しか 校を 胸に ロマ 校を 校知 しか で に マ 湖 校を 校知 しか みんな みんな みんな</p>	<p>大正 4年 4月 1日</p> <p>大正13年 5月 7日</p> <p>昭和 5年 1月20日</p> <p>昭和 5年 4月 7日</p> <p>昭和16年 4月 1日</p> <p>昭和22年 4月 1日</p> <p>昭和22年 5月 1日</p> <p>昭和28年 4月 1日</p> <p>昭和30年 7月 1日</p>	<p>下佐呂間尋常小学校所属「川口教授所」として開設</p> <p>川口尋常小学校に昇格</p> <p>下佐呂間尋常小学校と改称</p> <p>高等科を併置し下佐呂間尋常高等小学校となる</p> <p>下佐呂間国民学校と改称</p> <p>新学制施行により佐呂間村立下佐呂間小学校となる</p> <p>佐呂間村立下佐呂間中学校を併置</p> <p>町制施行により佐呂間町立下佐呂間小中学校となる</p> <p>字名変更により浜佐呂間小中学校と改称</p>

社 会 教 育

社会教育目標

人生100年時代を迎え、ゆとりと活力に満ち、健やかに過ごしたいという町民の共通の願いがあります。このことから、文化・スポーツなどを通じて生きがいを創造し、豊かな地域づくり・人づくりを目指して主体的に学習実践する町民の育成に努めるため、この社会教育目標を制定します。

人々を 地域を 夢を育む サロマの未来

【知】 未来を語り ともに学び 自ら創り出す サロマ人に

「人は地域を造り、地域は人を作るがごとし」と言われ、先人の知恵を媒体に、個々人は生きて働く力を持つ必要があります。現実を踏まえつつも、未来に夢を抱き、ともに学び続ける意欲を形成することによって時代の変化に対応できる資質の向上を図り、創造する人間像を目指すものです。

【情】 自然を愛し 人を愛し ふるさとを愛する サロマ人に

郷土に生きる喜びを、ともに分かち合い、心豊かで潤いのある社会生活の維持向上のため自然や人々との触れ合いを大切にするとともに、郷土芸能や伝統文化等を介して情操豊かにして、温か味のある人類愛を創造する人間像を目指すものです。

【意】 汗を尊び ぬくもりのある 地域づくりを目指す サロマ人に

勤労を喜びとし、自己啓発をはかり、日々の生活に生きがいを感じ、ゆとりと充実の中に、住民一人ひとりが地域に目覚め、地域とともに成長することを願い、地域に根ざした諸活動への積極的な参加を通して、地域づくりを創造する人間像を目指すものです。

【体】 大地とともに生き たくましく躍動する サロマ人に

大自然の豊かな恵みを受け、心身ともに健康で明日を夢見る生活環境を構築するために健全な心身への関心をもち、日常的に運動に参加し、スポーツの生活化をはかり、生き生きと健康で長生きのできる社会を創造する人間像を目指すものです。

(平成8年2月1日制定)

(令和3年2月17日一部改訂)

■ 解 説

緑豊かで、朝陽に輝く湖、風光明媚な郷土で先人達は、1世紀にわたって己に夢を抱き、ロマンを求め不屈の開拓精神を駆使し、今日的な活気のある佐呂間町の繁栄を築きあげてきました。この先人の残した貴重な伝統を受け継ぎ、21世紀に羽ばたく町民像を創造し、来るべき社会にふさわしい町民の意識や行動の変容が期待されています。

そして町民憲章の英知と友愛と勇気の精神の響きは大きな夢に波及し、人々に生き甲斐と潤いを持たせ、佐呂間町に「住みたい」、「住んでよかった」という未来のサロマを強く希求します。特に今日的課題である『人間性の欠如』に関わって、佐呂間町特有の大自然の優しさ・厳しさを媒体に人々を育み、高い知性とあふれる創造力をもって思いやりや、たくましいサロマ人としての誇り高い町民像を目指したものです。

◆ 推進目標

- 乳幼児教育 親と子の健やかな愛を育む、乳幼児教育の推進
- 少年教育 たくましく豊かな心を育む、少年教育の推進
- 青年・成人教育 潤いと豊かな明日を創る、青年・成人教育の推進
- 高齢者教育 健康で生きがいのある、高齢者教育の推進

■ 解 説

人間は生涯にわたって発達するものであり、発達段階にふさわしい教育目標を設定し、その具現化のために、人的・物的な諸条件を整備充実することにより望ましい人間が形成されるという仮説を立て、方向目標として制定したものです。各目標は、佐呂間町ばかりでなく、広く今日的課題として考察し、未来に希求するサロマの人間像として示したものです。特に、21世紀は心の時代ともいわれ、各発達段階において、必要課題や要求課題等を十分に検討し、達成目標を掲げ施策を試みる必要があります。町民の意識では、全体として、『健やか・たくましさ・潤い・生きがい』を求めていることを踏まえ、町民のニーズに応える内的要求・外的要求を組み合わせながら人間性豊かな人格を形成することを目指しています。

◎ 第8次社会教育中期計画のキーワード

『多様性』

- ・「みんなちがって、みんないい」
近年、多様な人達・価値観・思考が顕在化しています。
それらの多様性を受け入れ活用し、誰もが尊重され活用できる社会の構築が望まれます。

『いのち』

- ・世界各地で自然災害の発生、地域紛争の勃発、そして新たな感染症の拡大など、今多くの命が脅かされています。
改めて一人ひとりが命の大切さを自覚し、尊い「いのち」を考えることが大切です。

『変革』

- ・自然、科学、社会、教育など、私達の日常を取巻く環境は大きく変遷してきました。今後更に変化が予測される社会では変えてならない大切なものを堅持しながら、時代の変化に適応した変革が必要です。

◎ 第7次社会教育中期計画のキーワード

『寿世代』 (佐呂間町の社会教育において、60歳以上の世代を呼称する。)

- ・皆長寿社会が定着し、あらゆる方面で、「寿世代」の存在感が増しています。
今後、生産現場に限らず、ふるさとづくりにおいても、「寿世代」が培った知識・技能を活かすことが期待されています。

『居場所』

- ・すべての人が、生き活きと暮らすために、家庭・地域・学校・職場など様々なところで、一人ひとりの「居場所」が必要です。
子どもから「寿世代」まで、あらゆる世代の「居場所」づくりが求められています。

『双方向』

- ・社会が大きく変遷する中、人間関係の希薄化が進み、5年前の東日本大震災以降「絆」やより強い人の繋がりが求められています。
「双方向」からの情報の共有や交流事業を推進し、「学び合う、育ち合う、高め合う」関係をつくる事が重要です。

◎ 第6次社会教育中期計画のキーワード

『絆』

- ・今の時代背景の中で、過疎・少子高齢社会が「限界集落」を、経済不況・人間関係の希薄化が「無縁社会」をつくり出し、一方家庭では介護・育児における家庭の在り方、親子の在り方が大きな問題になっています。
誰もが安心して暮らせるために「支え合う 助け合う つながり合う」人と人との強い「絆」で結ばれた社会の構築が求められます。

『環境』

- ・地球規模の大きな気候変動が、私たちの身近な暮らしにも深刻な影響を与えています。郷土(ふるさと)の豊かな自然を、恵まれた環境を確かなものとして未来に引き継ぐことが私たちの責務であり、そのことが、かけがえのない地球を、かけがえのない生命(いのち)を守ることになります。

『人間力』

- ・住民の「ビジョン(夢)」、「パッション(情熱)」、「アクション(行動)」によって地域は創造されてきました。多くの課題に取り組まなければならないこれからの地域づくりには、今まで以上に一人ひとりの力が求められています。自ら学び成長することが地域の成長になり、たくましい地域をつくりあげることになります。

令和5年度 社会教育関係事業

領 域		子 育 て						
課 題		○子育て支援に関する情報発信を充実させる必要がある。 ○子育て中の親同士のコミュニティが必要である。 ○ICT機器の利便性・危険性の知識が必要である。 ○学校との連携が必要である。						
方向性		○子育て支援センター事業の充実 ○子育てに関する情報発信の工夫と強化 ○QRコードを学ぶ場の提供 ○地域の教育力の活用						
係	事業名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考	
社教	あいあいらんど	乳幼児期の子どもと親を対象に、家庭ではなかなかできないことや四季折々の行事を体験することで、子どもたちの自然生活への適応性・コミュニケーション能力の向上、親同士の交流を推進する。	産科病院とその親	①6月29日 ②7月13日 ③9月6日 ④10月11日 ⑤12月20日 ⑥1月21日	①町民センター ②市民会館 ③清水公園 ④町民センター ⑤町民センター ⑥市民会館	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	子育て支援センター、社会教育課、産科協、産院外館 ①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
社教	お話あいあい	乳幼児期の子どもを持つ親を対象に、子育てに関する情報を提供することで子育てに対する不安の軽減を図るとともに、子育てについてともに考える仲間づくりを推進する。	産科病院とその親	①5月10日 ②6月7日 ③7月12日 ④8月24日 ⑤9月13日 ⑥11月15日 ⑦12月7日	子育て支援センター (産科外館)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	子育て支援センター、社会教育課、産科協、産院外館 ①②③④⑤⑥⑦ ⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
社教	家庭教育学級	親（地域住民）が子育ての知恵を授けたり、子ども達にとって楽しい地域環境づくりを進めるための学習機会の場として、学校地域内を中心に開催する。	市内小中学校	随時	学校等		講師謝礼及び講師品賃を教育委員会が支出 上乗額 ・講師謝礼（年間）20,000円 ・講師品賃（年間）1,000円	
社教	家庭教育講演会	家庭教育の重要性を再認識させ、地域の教育力の向上を図る。	乳幼児・児童生徒を持つ親、祖父母ほか	①講習会 ②7月20日（木） （PTA・一般） ③7月21日（金） （中学生）	①町民センター ②市民会館 中 校		町PTA連合会の研究大会に合わせて実施予定 （調整中）	
社教	子育て講座	市内の親子等が協力して地域の産業などについて学び、地域の会、いのちの大切さ、家族のふれあいなどについて、学ぶ機会を提供する。	乳幼児・児童生徒とその親、祖父母ほか	未定	未定		会場内容は家庭教育推進会議で検討 （家庭教育推進会議と併発）	
社教	家庭教育推進会議	地域ぐるみで子育てを行う意識を高め、また地域の力を生かして子育て事業の展開を図る。	子育て支援団体、PTA、3F・4F年志、産院外、子育て支援センター、社会教育課等	①5月 ②10月 ③12月	町民センター	① ② ③	年度第1回目の会議において子育て講座等事業について検討	
公	元気アップ運動ひろば	武道館の空き時間とスペースを活用し、各種トレーニングの体験、運動遊び等による健康づくりの場を提供する。	乳幼児・小学生（保護者同伴） 一成人	4月1日（土） — 3月31日（日）	武道館	—	*平日（火～金） 10:00～11:00 *土曜日・日曜日 10:00～11:00 *武道館開放事業 *スター事業、武道館利用、その他団体使用時は中止	
図書	ブックスタート	（詳細「図書部」領域に掲載）						

領 域		育 ち						
課 題		○ICT機器使用のコントロール力を養う必要がある。 ○R・N・S等の危険性を学ぶ必要がある。 ○身体感からの学びが必要である。 ○多様な人間との関わりが必要である。						
方向性		○事業の情報発信の強化 ○ICT機器について学ぶ機会の提供 ○事業内容の充実と工夫（体験型・多様性） ○学校との連携強化						
係	事業名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考	
社教	サイエンスキャラバン	市内の子どもや町民に科学への関心を高めるとともに、実験を通して親子のふれあいや、大人と子どもの交流を深める。	全町民	2月17日	町民センター	① ② ③	子ども教育推進連絡協議会共催 かまくらまつりと同日開催 10F～12F不定、前年度同様2部入替制で事前予約受付予定	
社教	子育て講座	（詳細「子育て」領域に掲載）						
社教 社体	わんぱく広場	地域の発達な自然・人材を活用することにより、ふるさとに対する愛着心の向上を促すとともに、各種体験活動を通じ、学校別、異年齢間の交流を図る。	小学4～6年生	未定	未定		費用（宿泊）交通費等と冬期スポーツ体験を実施予定	

領域		学 び					
類 型		<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器等の学びを支援する必要がある。 ○対面・交流による学びの場が必要である。 ○誰もが参加しやすい環境をつくる必要がある。 ○女性が参加しやすい学びの場や交流の場が必要である。 ○町民の声が反映された事業づくりや情報発信をする必要がある。 ○学習活動自体の充実を必要とする必要がある。 					
方向性		<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器を活用した学びの支援 ○学びへの意欲や理解を促進する環境整備 ○学習・交流の場づくりや支援 ○町民の声（ニーズ）の聞き取りの充実 ○情報提供ツールの拡大 					
区 域	事 業 名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社 区	佐呂間高校別荘講座	生涯学習の観点から地域の教育機関と連携し、町民の学習機会の拡大を図る。	成人	未定 (11月頃予定)	佐呂間高校		佐呂間高校と共催
社 区	佐呂間高校生フォトコンテスト	佐呂間高校と地域のつながりや地域創生に向けた高校の魅力を伝えるとともに、高校生が社会貢献を目的に事業を展開する。	高校生	7月中旬～1月末 (予定)	町内		佐呂間高校と共催 7/19、表彰式・事業説明を実施予定
社 区	町民講座「夢工房」	町民が心豊かに生活を送れるよう、また多様な学習要求に応える機会を提供し、学習意欲の向上と目標化を促す。併せて、町内の関係者を活用し新たな人材の育成を図る。	成人	未定	未定		
社 区	青大学	(詳細「生きがいづくり」項目に掲載)					

領域		健康づくり・スポーツ					
類 型		<ul style="list-style-type: none"> ○健康に関する活動と継続できる事業展開・支援の必要がある。 ○多様なニーズに対応し、健康に貢献・関心を促す取り組みの必要がある。 ○事業、担当者、関係の機関等連携の必要がある。 					
方向性		<ul style="list-style-type: none"> ○ニーズに合わせた活動場所の提供 ○多様なニーズに対応するための指導員の増員・育成 ○ICTの有効活用 					
区 域	事 業 名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社 区	町民運動事業 「町民杯」ボウリング大会	町民であるソフトボールの普及振興を図る。	全町民	8月頃	総合センター		企画・運営：7/14～4協会
社 区	半マラソン100km(1777)	半マラソン100kmを走る特(100km)1777。差別化を目的にスタートし最大な1777kmを走りながら777kmの北上市常陸町を目標と目指します。(150kmのコースは100km広域10時スタート)	成人	8月25日	北上市常陸町 佐呂間町 鹿沼町		
社 区	出前講座	学校での運動事業に対し、講師派遣を促進し、新しいスポーツの体験や交流を図る。	小学生	随時			学校と協議し実施予定
社 区	スターまつり	1777推進委員が企画運営し、委員活動の活性化及び町民の利便促進並びに町民相互の交流を図る。	全町民	10月9日予定	スター		スターを無料開放(全町民対象) 体力測定、ニュースゲート、運動体験、水中ゲーム、絵本読み聞かせ
社 区	スポーツ推薦助成	本町のスポーツ推薦に専念するスポーツ選手一人一人に対し助成を行い、町民の心身の健全な発達とスポーツ愛護の高揚を図る。	全町民	随時			北道大会、全国大会、選抜大会参加経費の一部を助成
社 区	スポーツ表彰	スポーツの振興に専念した者及び優秀な成績を収めた者を表彰する。	全町民	10月9日予定 スターまつりと併催	武道館及び 湯水プール		・スポーツ功労賞 ・スポーツ奨励賞 ・スポーツ特別賞
社 区	学校開放事業	本町のスポーツ推薦の仕組み学校体育施設を学校教育に活用しない期間で開放し、地域住民の健康増進及びのびのび育成に寄与する。	全町民	随時	各小中学校		利用団体 バドミントン、バレー、ミニバス、野球、フットサル サッカー、ミニバレー、ソフトバレー、ミニバス 柔道部、ミニバレー、剣道
社 区	スポーツチャレンジDay	スポーツ推進委員が企画運営し、様々な種目を実施することで子ども・親子でスポーツの楽しさを体験し、運動習慣や協調性を学ぶ場を提供する。	全町民	未定	スター・体育館		町民より実施
社 区	健康ウォーキング	スポーツ推進委員が企画運営し、町民の健康増進、運動の習慣化を図り、意には町民相互の交流を図る。	全町民	11月予定 12月～1月予定	町内		11月定例町民コース予定 12月コース未定

社体 29-	さろま健康づくり講座	スターの施設を活用した健康づくり講座 を外部講師を招き開催	成人女性	全4回 毎週水曜日 11月1日～12月6日 定	武蔵野及び 湯水プール		健康体操、筋力体操、シェイプアップダン ス、フルボックス、ダンス高エクササイ ズ、エアロバイクなどを実施予定
社体 30-	からだはぐくむスクール 「らびっこスター教室」 「らびっこ運動教室」	就学前児童に対し、就学に必要な体カ づくりとスポーツの楽しさを理解させる。	3～5歳児1年生	1月20日(土) ～ 2月3日(土)	町営21-場		毎週土曜日、3回開催予定
社体 31-	各親健康プログラム 「こども運動塾」	小学生の運動能力と興味する気持ちを引 き出す。	小学1～6年生	全2回 2月17日・20日・ 3月2日	武蔵野	20組	*毎週土曜日(2/23は参 *13:30～14:15 ※指導協力：山崎指導員
社体 32-	元気アップスイミング 「ちびっこコース」	施設の利用方法やプールにおける約束事 の確認をしながら競争の泳ぎを学ぶ。	3～5歳児1年生	【A3-1】(水) 7月25日・ 8月1日・3日 【B3-1】(水) 7月19日・26日 ・8月2日	湯水プール	各10名	*Aクラス 16:30～17:30 *Bクラス 16:30～17:30 ※指導協力：水泳指導員外
社体 33-	元気アップスイミング 「ジュニアスイミング コース」	各レベルに応じた段階的指導を行い、美 しみながら泳ぎを学びプールが好きな 泳ぎを目指す。	小学1～3年生	5月9日(水) ～ 7月14日(金)	湯水プール	各12名	*指導内容：水なれ・ウオーク・泳ぎ *各1回コース *16:00～17:00 ※クラス長決定 ※指導協力：水泳指導員外
社体 34-	元気アップスイミング 「ジュニアスイミング & 泳ぎトレーニングコース」	陸上でのトレーニングと泳ぎを組み合わせ、 総合的な運動能力向上と泳力の向上 を目指す。	小学4～6年生	6月17日(水) ～ 10月20日(金)	武蔵野及び 湯水プール	各15名	*指導内容：陸上での泳ぎトレーニング(陸 上運動)及び水泳の各種泳法 *2回コース *本場日16:00～17:30 (D:未定待クラス) *会場日16:00～17:30 (D:未定待クラス) ※指導協力：水泳指導員外
社体 35-	各親健康プログラム トレーニングミニ講座	気軽に参加できる各種トレーニングに 関する講座を開催し、市民の健康維持・増 進と施設の利用促進を図る。	高校生以上	1月10日(水) ～3月6日(水)	ホール・グ 武蔵野 他	各10名	ストレッチング、コンディショニング、筋力運動、 ウォーキング等のミニ講座 *本場日19:00～19:45 *テーマについては事前告知(要連絡、案内配布 かカレンダー等)
社体 36-	元気アップ運動ひろば	武蔵野の空き時間とスペースを活用し、 各種トレーニングや卓球、運動遊び等 による健康づくりの場を提供する。	乳幼児・小学生 (保護者同伴) ～成人	4月1日(土) ～ 3月31日(日)	武蔵野	—	*平日(火～金) 10:00～11:00 *土曜日・日曜日 10:00～11:00 *武蔵野運動広場 *スター事業、武蔵利用、その他団体使用 時は中止
社体 37-	パーソナル指導	利用者の目的に合わせて各種トレー ニング及び水泳・水や運動の個人指導	幼児 ～ 成人	5月3日(火) ～ 2月21日(日)	湯水プール ホール・グ 他	1～5名	*事前予約制 *1人専用は最大で、月3回まで申込み可(但 し、プールでの指導はシーズン中1人4回 まで) *陸上でのトレーニング指導は小学生以上 *3名以上の指導は15歳以上が対象
社体 38-	指導者派遣事業	指導者派遣依頼・教室開催要望等への 対応	—	適年	スター 他	—	*1団体につき年間3回まで
社体 39-	各親健康プログラム 「らくらく健康体操」	中高齢者向けに健康体操教室を実施す る。	成人 (高齢者向け)	1月11日(木) ～ 3月19日(水)	武蔵野	各25名	*毎週火・水曜日 全14回 *13:30～14:15
社体 40-	健康スノーシューコース 開設	各期間の100年広場を活用した屋外ス ノーシュー活動の場を提供することで、市民 の健康維持・増進を図る。	町民	2月～3月	100年広場 (パークゴルフ場及び多 目的広場)	—	*貸出用器具貸出
社体 41-	日本水泳連盟認定泳力検 定会	日本水泳連盟認定の泳力検定を通じて、 水泳技術の向上を図る。	小学生以上	10月20日(日)	湯水プール	—	*10:30～11:30
社体 42-	水泳指導者講習会	水泳の指導理論及び指導実践研修	町内水泳指導員	日程未定	湯水プール 他	—	*内容未定

種 類		施設			
種 類		<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して子どもたちが安全に遊べる場所が必要である。 ○多様な活動に対応するため、施設利用条件を緩和する必要がある。 ○施設開放状況など利用に関する情報発信の必要がある。 ○施設・設備の維持管理及び新設の検討が必要である。 			
立地性		<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちが安全に遊べる場所の確保 ○更新の検討及び更新の際のバリアフリー化、適老化、集約化 ○施設利用の利用条件緩和 ○利用に関する情報発信改善 			
種	施設名	主な施設整備	開設年度	休館日・利用時間等	備 考
社団	児童センター	施設の維持管理を継続して実施	昭和52年	休館日：12/29～1/3 利用時間：午前9時～午後12時	
社団	開拓資料館	施設の維持管理を継続して実施	昭和52年	休館日：12/29～1/3 利用時間：午前9時～午後5時	
社団	体育館	施設の維持管理を継続して実施	昭和47年	①休館日 ・毎週水曜日 ・国民の休日に関する法律に規定する休日の翌日 ・12/29～1/3 ②利用時間 ・日、土、日、金 午後1時～午後3時 ・水、木、土、日、月 午前9時～午後5時	
社団	スキー場	①スキー滑りフト更新・曳索設備更新修繕工事 【事業費：1,749千円】 ②スキー場周辺整備工事 【事業費：1,030千円】	昭和59年	利用期間 スキー可能な期間 ※12/14オープン 利用時間：午前10時～午後8時	①空襲被害箇所15ヶ所の取替、15号支柱より、6号支柱下り) ②変更種一基より高速度のFTR（ポリ塩ビフェニル）が採出されたため、FTR特別検査に基づき、検査する変更箇所の適正な処分と新たな変更箇所の設置を実施。
社団	100年広場		平成4年	利用期間は各施設利用可能な期間とし利用時間は施設によって異なります。	
社団	屋外体育施設	①屋外体育施設更新修繕工事（耐動性） ・若狭9号、100年広場（P9号、多目的広場）、浜松島P9号 【事業費：1,650千円】 ②屋外体育施設更新修繕工事（耐動性） ・若狭P9号、100年広場（P9号、多目的広場）、浜松島P9号 【事業費：1,650千円】 ③バレーボール場等芝生整備工事 ・若狭P-21、P-22、P-23、P-24 【事業費：2,607千円】 ④野球場観客席修繕工事 【事業費：1,473千円】 ⑤浜松島開港村公園更新修繕工事 【事業費：1,047千円】	社島開P-10、P-11場 平成4年 若狭・浜松島P-21、P-22場 平成10年 浜松島P-23、P-24 昭和59年 総合P-25、P-26 昭和47年	利用期間は各施設利用可能な期間とし利用時間は施設によって異なります。	①・②、83年度の地震による被害からの迅速な再建事業として、老朽の再生を目的とする建物の更新を目的として84年度に耐震耐震検査し、その結果が確認されたため85年度に引き続き実施するもの。 ③若狭P-21、P-22場の芝生維持管理のため、84年度から3ヵ年計画で芝生の更新を実施。 ④野球場内道員入れ倉庫解体撤去・新築増築・物置設置工事。 ⑤経年劣化による飲食等が著しく、利用上の安全を確保するため施設周辺の木造階段の取替及び高層向サイドの木造階段撤去、撤去後の整地工事を実施。
社団	武蔵館・温水プール	施設の維持管理を継続して実施 ①温水プールテイル修繕工事 【事業費：25,883千円】	平成5年	①休館日 ・毎週月曜日 ・国民の休日に関する法律に規定する休日の翌日 ・12/29～1/3 ②利用時間 ・午前12時～午後8時 ・土、日曜日 ・午前10時～午後3時 ③温水P-4の開放は25～10月	①温水プール床及びプールサイドのタイル舗装

領域		団体支援				
目 的		<ul style="list-style-type: none"> ○団体の存続・活動支援を促す必要がある。 ○多様化する少人数グループの活動促進、情報発信強化を促す必要がある。 ○少人数グループの活動場所の提供が必要である。 ○指導者の育成、支援強化を促す必要がある。 				
方向性		<ul style="list-style-type: none"> ○団体活動のフォロー促進、情報発信強化支援 ○指導者の発掘、育成支援 ○補助金等の支援の継続 				
係	団体名	趣 意	予算額	交付額	備 考	
社教	子ども会育成会連絡協議会	各種事業・研修会の実施、子どもたちの健全育成、リーダーの育成、さらには地域の教育力の向上など、町内の単位子ども会の活動を促進するため、町内の子ども会育成会で開催する「子ども会育成会連絡協議会」に対し支援する。(単位子ども会育成会 7団体)	330,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、町内イベントの共催等	
社教	P T A 連合会	親と教師が相互に連携し、研修会への参加や研究大会の開催、地域の教育力の向上など、町内の小、中学校及び高校のPTAで組織する「PTA連合会」の活動に対し支援する。	145,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、町内研究大会、教育懇談会等	
社教	文芸連盟	町民に読書を奨励、鑑賞する機会を提供し、地域の芸術文化の振興に寄与するなど、本町の文芸活動の中心となる活動している「文芸連盟」の活動に対し支援する。	300,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、社会文化祭開催、リーダー研修等	
社教	佐島町町民スポーツ協会	佐島町町のスポーツの普及並びに団体の活性化を図るため、教室の開催や加盟団体との連携を図っている「佐島町町民スポーツ協会」の活動に対し支援する。	1,200,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、町内大会後援等	
社教	スポーツ少年団本部	佐島町町の少年スポーツの普及並びに活性化を図るため、教室の開催や加盟団体との連携を図っている「スポーツ少年団本部」の活動に対し支援する。	303,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成、講習会への支援等	
社教・ 社体	佐島町町民文化・スポーツ活動促進事業	町民者を構成員の過半数が町民であるスポーツ協会加盟団体、少年団本部加盟団体、文化連盟加盟団体、指導者を各5名以上で構成され、1年以上継続している団体・サークル、佐島町中学校及び佐島町高校の部活動を対象に、対象団体が主催する講習会等による講師陣札、団体構成員、指導者が参加する講習会に係る旅費等を補助	750,000円		【活動内容】 補助金の交付、団体育成	

領域		生きがいづくり					
目 的		<ul style="list-style-type: none"> ○町民の健康・技能を地域に活かす必要がある。 ○需要に対応した学習活動・団体活動の提供を促進する必要がある。 ○社会性を育むための学習機会を提供し参加を促す必要がある。 ○情報通信技術の向上を図る必要がある。 					
方向性		<ul style="list-style-type: none"> ○世代間の相互の継承 ○個人で取り組むことが難しい活動への支援 ○無料制、分科制の受講事業 ○ICT機器を活用した生きがいづくりの支援 					
係	事業名	趣 意	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社教	寿大学	運動者の生きがいづくりに関与するとともに、高齢者の持つ豊富な経験や能力の活用を図る。	65歳以上	通年	町民センター		
社教 社体 スポーツ 図書館	事業講師の活用	町民の社会参加の場づくり、生きがいづくりの場から、社会教育事業の講師・協力者として、積極的に町民の協力を得ながら、事業展開をする	町民	随時			

領域		文化財					
目 的		<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的・文化的存在を顕彰する必要がある。 ○歴史的・文化的財を保全整備する必要がある。 ○開拓資料館・町民センター展示室の存在を顕彰する必要がある。 ○開拓資料館の展示の工夫と展示品を整備する必要がある。 ○説明ボランティアの育成が必要である。 					
方向性		<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的・文化的財 - 自然風景の情報発信 ○開拓資料館・町民センター展示室の情報発信 ○開拓資料館の展示 - 説明会などの整備 ○説明を担う人材の育成 					
係	事業名	趣 意	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社教	佐島町の歴史を学ぶ (小学生フィールド)	小学生の社会科の学習において、佐島町町の開拓の歴史に触れてもらう機会を提供し、先人たちが開拓した凶神の様子や生活の移り変わりを学んでもらう。	小学3・4年生	随時	開拓資料館		
社教	郷土資料の展示	佐島町町における開拓資料を収集、巡回展示し、教育、学術文化の発展に寄与する。	全町民	常設	開拓資料館 町民センター		

領 域		芸術・文化					
目 的		<p>○芸術・文化の情報を発信する必要がある。</p> <p>○芸術文化支援事業について認知する必要がある。</p> <p>○団体・サークルへの活動支援が必要である。</p>					
方針性		<p>○芸術・文化活動の情報発信の強化</p> <p>○芸術文化支援事業についての認知の工夫</p> <p>○団体・サークルへの活動支援の強化</p> <p>○団体・サークル間の交流促進</p>					
係	事 業 名	趣 旨	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
社教	ミニ劇場	市民に生の芸術に触れる機会を提供し、創造性を養い、豊かな情操を育む。	町内保育所児、その他幼児ほか	7/11	公民館保育所		「ファミリーコンサート」(あみぞ、)
社教	少年文化劇場 (小学生・中学生対象)	美術鑑賞の機会を提供することにより、文芸に対する理解と関心を深めるとともに、情操面での発達を促す。	小・中学生全員	11/6/28 12/8/31	①佐呂間小学校 ②佐呂間中学校		①演劇劇「富士山物語」(劇団民話芸術) ②「もっさいないミュージカル」(劇団新演劇)
社教	ミュージックフェスティバル	各学校・町内音楽団体の日頃の練習成果を広く発表する機会を提供するとともに、団体的統率や技術の向上を図り、音楽を通じた青少年の健全育成を目指す。	全町民	未定	町民センター		町・民団連アンケート結果により中止、諸事情により検討が必要
社教	ミニギャラリー	各種作品の発表の場及び鑑賞の場を提供することで、芸術文化の振興を図る。	全町民	随時	町民センター1階ロビー		
社教	現代芸術作家「文保 真」作品展 (豊後教室の開催)	佐呂間町出身作家の作品を町内の多くの方に観てもらうとともに、鑑賞(読み聞)・鑑賞の作品観やその芸術活動の楽しさや素晴らしさを伝える機会を提供し、豊かな心と感性を育み、芸術への関心を高めてもらう機会とする。	全町民	9月下旬～10月下旬	図書館		鑑賞、読み聞かせが併設を予定 鑑賞教室については、作家来場時に実施
社教	芸術文化支援事業	佐呂間町内における芸術文化活動等の運営機会の充実を図り、また町民の自主的な芸術文化活動の活性化を図る。	全町民				・事業費補助 ・会場費用負担 ・チケット取り扱い ・町民センター優先予約 ・広報支援
社教	文化講演会	町が主催で町民による講演会を開催し、町民の文化意識を高め、芸術文化活動の活性化を図る。	全町民	未定			
社教	芸術文化表彰	芸術文化の振興及び普及発展に顕著な業績又は功績のあった者を表彰する。	全町民	随時			
社教	二十歳の成人式 記念事業	新成人を祝福するとともに、新たなスタートへの激励を図る。	平成19年4月2日～19年4月1日までに生まれたもの	1月7日	町民センター		成人式の貸貸行事として、成人式終了後に鑑賞事業等も予定
社教	音楽行コンサート	町内では触れる機会が少ない質の高い音楽に触れる機会を提供することにより、子ども達や町民に音楽を愛する心を育み、豊かな情操を養う。プロの音楽家達と佐呂間町吹奏楽団員で演奏グループを構成し、町内各所に出向いてのミニコンサートを開催することで、音楽を身近に感じてもらうとともに、出演する町民士にとっても、プロと共演する機会を提供する。	全町民	1と2月予定	①佐呂間小学校 ②佐呂間中学校 ③公民館ホール ④町民センター		佐呂間高校吹奏楽団顧問と協力

領 域		情 報・制 度					
項 目		○情報発信を工夫する必要がある。 ○各種学習支援を告知する必要がある。 ○サポーターバンクを周知する必要がある。					
方向性		○ホームページの内容充実 ○SNSなどによる情報発信力の向上 ○各種学習支援制度・サポーターバンクの周知					
係	事業名	趣 旨	対 象	期 間	開催場所	人 数	備 考
社教	教育委員会だより「まつろしん」発行	生涯学習に関する啓もう・啓発のための広報活動を展開する。	全町民 (広報紙り込み)	毎月			各学校を通じて、学校教職員に配布
社教	遠軽地区学習支援ネットワーク事業「なな・なんと情報」	遠軽地区各町村事業の情報を広く告知することにより、市民の学習機会の拡大を図る。	全町民 (広報紙り込み)	複数月			遠軽地区教育委員会協議会主催事業 (月々編纂担当、遠軽町)
社教	地域学習活動支援事業「まなびすと」	住民からの学習要望に対し必要な支援を行うことにより、住民の自発的な学習意欲の喚起、学習機会の拡大を図り、地域生涯学習の充実・促進を図る。	町内で5人以上で組織する団体	随時			学習要望に対する指導・助言（人的支援） (全体的補助) 上限額 ・講師謝礼 20,000円 ・講師旅費 1,000円
社教	サポーターバンク	町民の多様な自主的生涯学習活動を奨励・支援し、生涯学習活動の普及促進を図るとともに、町民が休年におたって蓄積した技能、技能等を地域社会に還元する人材の発掘により社会参加を促進する。	全町民	随時			内部資料として管理
社教	芸術文化表彰	(詳細「芸術・文化」領域に掲載)					
社教	芸術文化支援事業	(詳細「芸術・文化」領域に掲載)					
社体	スポーツ表彰	(詳細「健康づくり・スポーツ」領域に掲載)					
社体	スポーツ振興助成	(詳細「健康づくり・スポーツ」領域に掲載)					
図書	新着図書情報	(詳細「図書類」領域に掲載)					
図書	図書館だより「こちら他図書館も立派な図書館です。」	(詳細「図書類」領域に掲載)					
社教 社体 図書	インターネットを活用した情報提供	町ホームページなどを活用しながら情報発信を行う。	全町民	随時			

領域		図書種					
詳細		<p>○図書部専任の情報責任に工夫が必要である。 ○学校図書との連携を図る必要がある。 ○図書を有効的に活用する必要がある。 ○図書部全体のレイアウトの検討が必要である。 ○図書部ホームページが必要である。</p>					
方向性		<p>○情報発信力の向上 ○学校図書との連携強化 ○読書の有効活用 ○読書スペースの拡充 ○図書部ボランティアの配置</p>					
係	事業名	趣 意	対 象	期 日	開催場所	人 数	備 考
図書	ブックスタート	子育て支援として絵本の活用を促進し、乳幼児と保護者の読書習慣の利殖拡大を図る。 乳児と保護者に、読み聞かせの体験と楽しみを促す。	乳児・保護者	偶数月 第4木曜日	社会館 コニセン	21組見込	8・10ヶ月児対象の乳幼児読書に合わせて実施 「はなびブーン」＋1冊（隔年本）
図書	セカンドブック	ブックスタート後、改めて絵本を通しての親子のふれあいの大切さを伝える。	保護者	偶数月 第4木曜日	社会館 コニセン	20組見込	2歳児対象の乳幼児読書に合わせて実施 「からっぽのくまさん」 「十二支のおはなしと十二支がわかるほん」
図書	移動図書巡回車及び 太宰サービス	情報及び資料提供の地域格差を解消し、図書部活動の円滑、新刊案内等広域的なサービスの提供を行う。また子どもも自ら読書に対する興味、関心を高め、読書習慣を身につける。	全町民	随時			「巡回サービス」3ヶ所 （支庫サービス）7ヶ所 社会館コニセン・読書推進活性化センター・各小中学校・高校 （団体貸出）1箇所 保育所・子育て支援センター・老人福祉センター・ケアハウス・スター・めぐるくま・森島 他
図書	絵本巡回展	絵本の活用を促すことにより、興味関心をもち、手に触れしめを感じてもらう。	全町民	1月28日～2月12日	図書部		絵本巡回展企画「ナリとナリ」 社会館コニセン・読書推進活性化センター・各小中学校・高校
図書	読書感想文・感想画 コンクール	読書を通して子どもの豊かな感性や表現力の向上を図るとともに、読書習慣を育てる。	各小中学校 児童・生徒		図書部		・作品募集 4月 ・作品受付締切 4月 ・感想募集（校内） 11月 ・審査（感想画11月 感想文11月） ・賞・記念品授与 1月 ・作品集贈呈 2月
図書	図書相談委員会	本・物語・読書に関する講師・講演者を探し、講演会や講座を行う。	全町民	不定期	図書部		講師は随時中
図書	おはなし広場	絵いから絵本や紙芝居の読み聞かせにふれることで、読書の楽しさや身につけてもらう。	幼児・児童 保護者	毎週土曜日 午後2時	図書部		図書部職員又はボランティアが読み聞かせを行う 令和3年3月水曜日「ボランティア」2名参加
図書	人材育成講座	人材育成講座によるボランティア活動を通して、絵本や読書の世界と子どものふれあいを図る。	幼児～一般	年数回	図書部・保育所		人材育成講座「ぼんぼん」による人形劇、パペットシアター、ミュージックシアター、太宰府文学の広場を行う。 老人施設や団体からの依頼にも対応する。 平成29年度からは交通安全人形劇も実施
図書	映画上映会	映画鑑賞を通して、本や物語との共通点を図る。	幼児～一般	不定期	図書部		おはなし広場終了後に会場等で映画DVDの作品を持ち上げ、または購入し上映する
図書	子ども向け事業	学校休業期間中に図書部に親しむ機会を設け、図書部の利用促進を図る。	児童	夏休み・冬休み等 学校休業期間	図書部		子ども向け事業を開催
図書	図書部まつり	図書部に携わるきっかけを促すことで、図書部の円滑及び利殖拡大を図る。	幼児～一般	8月10日	図書部		各種行事を開催する ・古本市・読書 等 なお手強い協力依頼は行事内容により検討
図書	新着図書情報	図書部に登録された新刊をとりまとめた、広く教員に知らされる。	幼児～一般	月1回	図書部及び 町ホームページ		図新物をカウンター前で配布 町ホームページ上ではPDF形式で配布 高齢者向け印刷版を専次等、ふれあい館等に同封 児童向けは各学校、支援センター等へ配布
図書	図書部だより「こちらに は図書部立図書部です。」	特集コーナーの紹介や、行事の告知など、図書部の情報を発信し、来館のきっかけを作る。	幼児～一般	月1回	図書部及び 町ホームページ		図新物をカウンター前で配布 町内の学校・施設へ配布 町ホームページ上ではPDF形式で配布
図書	まごころのまごころ	「読書を通して自立した社会人になってほしい」との思いを込めた選んだ書籍20冊のうち希望する1冊を新成人に贈る。	平成14年4月2日～ 15年4月1日までに 生まれた方	1月7日	町民センター		成人式において実施（申請書には送付）
図書	学校図書室との連携	学校と連携し、学校図書室の利用促進を図るための町書を中心とした図書部職員を派遣し、利用しやすい図書室づくりをサポートする。					

社会教育団体

■ 少年団体

○佐呂間町子ども育成会連絡協議会

会 長 河 井 裕 樹

事務局 長 大 谷 宏 明

団 体 名	育成会代表者名	子ども会員数	育成会員数
はばたけ子ども会	森 要	20	15
とびたて子ども会	平 戸 幸 浩	33	25
中学区子ども会	河 井 裕 樹	25	22
うきうき子ども会	能 登 貴 也	33	26
富士・若里子ども会(富士)	名 雪 彰	21	10
富士・若里子ども会(若里)	名 雪 彰	12	8
若佐子ども会	長 澤 耕之輔	32	25
計		176	131

■ 成人団体

○佐呂間町PTA連合会

会 長 石 川 勝 義

事務局 長 石 崎 俊 英

団 体 名	代 表 者 名	会 員 数
若佐小学校PTA	長 澤 耕之輔	34
佐呂間小学校PTA	杉 山 友 洋	130
浜佐呂間小学校PTA	矢 島 大 樹	18
佐呂間中学校PTA	石 川 勝 義	115
佐呂間高校PTA	阿 部 真	84
計		381

■ 文化団体

○佐呂間町文化連盟

会 長 井 上 孝 一

事務局 長 大 宮 義 勝

区 分	団 体 名	代 表 者 名	会 員 数
華 道	華松園(松月堂古流)	天 内 和 子	7
歌 謡	カラオケ愛好会	大 澤 栄 子	7
歌 謡	カラオケあすなろ	井 上 孝 一	5
歌 謡	カラオケ寿	村 岡 マチ子	10
歌 謡	はまなす	佐々木 昭 一	15
日 舞	若柳臣流・若寿会	若 柳 吉竹寿	24
ダ ン ス	社交ダンス同好会	日沼 洋子(代行)	12
ダ ン ス	キッズダンス	佐々木 由理佳	9
ハワイアン	レイアロハ・フラの会	押 野 恵	8
詩 舞	聖月流若佐	野 畑 ふみ子	3
大 正 琴	大正琴くるみ会	檜 垣 久美子	9
大 正 琴	藤朋流	杉 本 久美子	10
	計	12 団体	119

■ 体育団体

○ 佐呂間町スポーツ協会

会 長 尾 崎 実 事務局長 小 松 将 史
 副 会 長 木 村 克 美 事務局長 中 原 央 人
 〃 大 宮 克 美

団 体 名	代 表 者 名	事 務 局	会 員 数
佐呂間町野球協会	宇野 利喜夫	野村 均	120
佐呂間町剣道協会	窪田 直喜	幸松 賢	19
佐呂間町ソフトボール協会	大宮 克美	志賀 克浩	94
佐呂間町ブルームボール協会	室井 久志	中原 央人	50
佐呂間町ゲートボール協会	矢吹 勇吉	高井 弘子	26
佐呂間スキー協会	門 茂治	山本 幸代	22
佐呂間ゴルフ同好会	船木 邦雄	水田 勝彦	46
佐呂間パークゴルフ協会	荻原 弘純	荻原 弘純	100
佐呂間町サッカー協会	阿部 真	阿部 楓馬	19
サロマテニス協会	山原 光広	山原 光広	15
佐呂間町卓球協会	渡井 靖夫	永井 啓子	11
佐呂間町陸上競技協会	尾崎 実	大谷 宏明	
計 (12 団体)			522

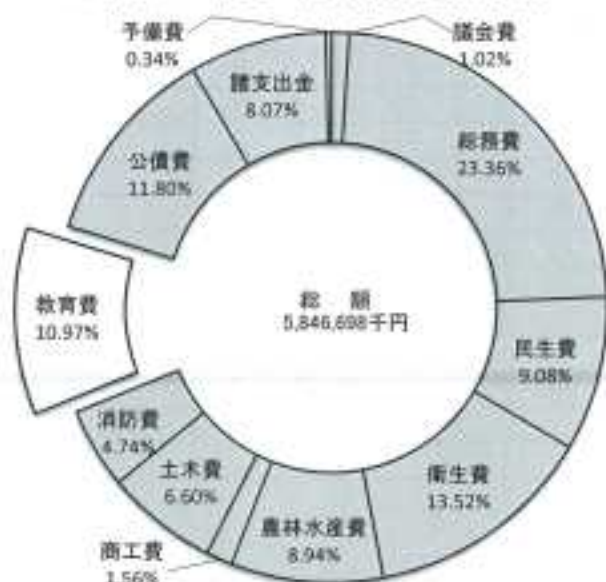
○ 佐呂間町スポーツ少年団本部

本 部 長 本 間 満 明
 副 本 部 長 鹿 島 裕
 事務局長 吉 本 薫

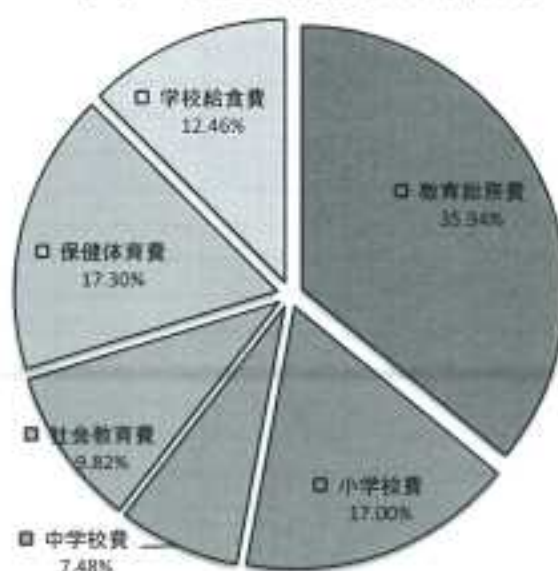
団 体 名	代 表 者 名	事 務 局	会 員 数
佐呂間野球スポーツ少年団	鹿島 裕明	鹿島 裕明	17
佐呂間柔道スポーツ少年団	尾崎 実	尾崎 実	11
佐呂間バレーボール少年団	吉本 薫	吉本 薫	16
佐呂間スピードスケート少年団	佐伯 悟	佐伯 悟	22
佐呂間サッカー少年団	野村 林太郎	森 要	15
佐呂間ミニバスケットボール少年団	本間 満	本間 満	31
サロマジュニアラグビー少年団	尾崎 実	尾崎 実	0
計 (7 団体)			112

教 育 予 算

■令和5年度一般会計款別予算



■令和5年度教育費項目別割合



■教育費項目別予算額 (令和5年4月1日現在)

歳 出 予 算		財 源 内 訳				
項 目	予算額 (千円)	割合 (%)	国 道 支 出 金	地方債	その他	一般財源
教育総務費	230,616	35.94%			18,987	211,629
教育委員会費	1,650					1,650
事務局費	132,286				7	132,279
教育財産管理費	71,619				2,526	69,093
教育振興費	25,061				16,454	8,607
小学校費	109,055	17.00%	6,787		20,000	82,268
学校管理費	80,656		16		20,000	60,640
教育振興費	28,399		6,771			21,628
中学校費	48,027	7.48%	114		10,300	37,613
学校管理費	37,824		19		10,300	27,505
教育振興費	10,203		95			10,108
社会教育費	62,980	9.82%		13,900	4,695	44,385
社会教育総務費	13,416				1,614	11,802
町民センター運営費	15,515				81	15,434
図書館費	34,049			13,900	3,000	17,149
保健体育費	111,018	17.30%		25,900	6,975	78,143
保健体育総務費	23,379				4,593	18,786
体育館費	9,788				132	9,656
スキー場管理費	6,953				1,277	5,676
武道館・温水プール費	70,918			25,900	973	44,045
学校給食費	79,972	12.46%			31,989	47,983
学校給食費	79,972				31,989	47,983
合 計	641,668	100.00%	6,901	39,800	92,946	502,021
財源割合 (%)			1.08%	6.20%	14.49%	78.24%

教 育 施 設

施設の概要（令和5年5月1日）

■ 小学校

学校名	校地面積 (㎡)	建 物 面 積 (㎡)						
		校 舎				屋 内 運 動 場		
		木 造	鉄 筋	その他	計	鉄 筋	その他	計
佐呂間小学校	31,897	73	3,448		3,521	27	1,061	1,088
若佐小学校	39,998		1,726	276	2,002	15	717	732
浜佐呂間小学校	36,593		2,469		2,469		726	726
合 計	108,488	73	7,643	276	7,992	42	2,504	2,546

■ 中学校

学校名	校地面積 (㎡)	建 物 面 積 (㎡)						
		校 舎				屋 内 運 動 場		
		木 造	鉄 筋	その他	計	鉄 筋	その他	計
佐呂間中学校	33,970		3,454	169	3,623		1,052	1,052

■ 佐呂間町学校給食センター

建物面積 (㎡)	設 置 年 月 日	所 在 地	備 考
889	平成19年3月22日	佐呂間町幸町1番地の1	平成19年4月9日から各学校へ供用開始

■ 社会教育施設

施設名	規模(㎡)	設置年月	所在地	施設の概要
町民センター	2,321	S52.6	永代町	集会所、楽ホビー、研修室他
開拓資料館	110	S52.3	永代町	農具、道具、生活用具 約200点展示
図書館	797	S58.12	永代町	児童館併設
体育館	2,020	S47.10	西富	アリーナ外
武道館・温水プール	3,663	H6.9	西富	武道館、温水プール、トレー ニングルーム、ストレッチル ーム、ランニングコース
浜佐呂間プール	534	H3.7	浜佐呂間	簡易プール
総合グラウンド	28,363	S47.10	西富	照明施設 8基 フットボール場2面・野球場1面
100年広場多目的広場	10,800	H6.5	西富	芝コート
100年広場パークゴルフ場	41,897	H6.5	西富	照明施設 2基 36ホール
100年広場グートボール場	1,437	H6.5	西富	3面
テニスコート	1,469	S55.8	西富	照明施設 1基 2面
浜佐呂間テニスコート	851	H7.12	浜佐呂間	照明施設 4基 1面
浜佐呂間パークゴルフ場	24,288	H10.2	浜佐呂間	18ホール
若佐グートボール場	2,304	H10.2	若佐	2面
若佐パークゴルフ場	17,868	H10.2	若佐	18ホール
若佐テニスコート	685	H10.2	若佐	1面
スキー場	93,140	S59.12	西富	ロッジ 照明施設 8基 観音 72台

施設の利用状況（令和5年度）

■ 町民センター

区分	集会室控	調理室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	和室 (1,2,3)	会議室	託児室	ロビー・ 2F展示室	合計	
利用件数	199	38	68	139	67	62	53	142	37	28	80	941
利用人数	12,424	1	265	558	62	192	31	276	4	0	172	13,977

■ 図書館

区分	本館	B.M.車 庫（と）	若佐 小	浜佐呂間 小	学校 巡回文庫	団体貸出	合計
貸出件数	25,379	1,582	31	39	7,916	9,451	44,398
貸出人数	5,462	534	15	12	442		6,472

■ 開拓資料館

利用人数	利用日数
50	12

■ 武道館・温水プール

区分	武道館	温水プー ル	トレーニング 室	研修 室	和室	トレーニング 室	その他	合計
利用人数	4,961	4,537	5,725	589	66	880	1,383	18,132

■ 体育館

利用人数	利用日数
7,876	291

■ テニスコート

区分	浜佐呂間	浜佐呂間	若佐	合計
利用人数	360	0	2	362
利用日数	86	0	2	88

■ スキー場

利用人数	利用日数
33,325	56

■ 100年広場

区分	テニスコ ート	多目的 広場	合計
利用人数	1,308	3,516	4,824
利用日数	198	129	327

■ 総合グラウンド

区分	ソフト ボール場	野球場	サッカー 場	合計
利用人数	780	2,869	160	3,809
利用日数	22	107	6	135

■ 若佐ゲートボール場

利用人数	利用日数
1,530	85

■ 浜佐呂間プール

利用人数	利用日数
290	30

■ 学校開放

区分	浜佐呂間小	若佐小	浜佐呂間小	浜佐呂間中	合計
利用人数	2,358	48	0	0	2,406
利用日数	120	3	0	0	123

■ パークゴルフ場

区分	若佐	浜佐呂間	合計
利用人数	597	60	657
利用日数	198	198	396

教育関係委員名簿

■ 教育委員（5名）

氏名	任期	備考
谷川 敦	令和4年10月1日 ～ 令和7年9月30日	教育長
平戸 鉄也	令和1年10月14日 ～ 令和5年10月13日	教育長職務代理
内藤 宏文	令和4年10月14日 ～ 令和8年10月13日	
江刺 徳明	令和2年10月14日 ～ 令和6年10月13日	
市村 由佳	令和3年10月14日 ～ 令和7年10月13日	

■ 社会教育委員（18名以内） 任期 令和4年4月1日 ～ 令和6年3月31日

氏名	備考	氏名	備考
真如 智子	委員長	室井 公裕	
尾崎 実	副委員長	室井 隆治	
川又 聖子	副委員長	佐々木 理有	
草野 宏繁	副委員長	檜 垣 久美子	
村岡 大輔		阿部 夏希	
西岡 理恵		三島木 羽由希	
山崎 逸子		田宮 拓郎	
佐藤 優紀		本間 恵奈	
鈴木 桂輔		住吉 浩美	

■ スポーツ推進委員（8名以内） 任期 令和5年4月1日 ～ 令和7年3月31日

氏名	備考	氏名	備考
室井 久志	委員長	住吉 健可	
佐伯 優一	副委員長	山崎 旺弥	
柏尾 郁木		田宮 奈々	
宇野 優利		佐久間 梨緒	

■ 佐呂間町教育委員会事務局の機構（令和5年8月15日現在）

() 事務職員 □ 再任用職員
【 】 会計年度任用職員

教育長
谷川 敦

<p>管理課長 百村 雅人</p> <p>TEL 2-1294 FAX 2-1131</p>	<p>— 総務係長 (西村 雅人) — 中谷 駿介・(沢井 香奈)</p> <p>教育委員、教育委員会議、総合教育会議渉外事務、公印の管守、儀式・典禮、教職員の表彰、表彰・規則・合議、学校の設置・廃止、文書の收受・発送、町内の取り纏まり、町議会提出議案の総括、請願・陳情、職員の任免・その他人事・福利厚生・保健衛生、教職員の任免・人事・給与、教職員の分限・懲戒・風務、学級編成・教職員の配置、教職員団体、税外収入、学校整備、教育財産、教員住宅の入退去・維持管理、物品管理、学校経理、学校施設の維持管理、奨学資金、その他学校管理に関する事、佐呂間高校存続対策に関する事、オホーツク管内教育委員会協議会に関する事、教職員の免許状、教職員の宿費、校務支援システムに関する事、他の係に属さない事務</p>
<p>管理課参事 弘内 裕子</p> <p>指導主事 【野村 克仁】 語学指導助手 【アラン・オチェア】</p>	<p>— 学校教育係長 (弘内 裕子) — 沢井 香奈</p> <p>教職員の研修、学級児童生徒の就学、児童生徒の入学・転学・退学、学校区・学校食料区・学校菜園部、通学区域、教育課程・学習指導・生徒指導・職業指導、学習効果の評価、就学奨励に関する事、要保護・要配慮児童生徒の認定等、教科書・その他教材に関する事、教職員及び児童生徒の福利厚生・保健衛生に関する事、児童生徒の災害、語学指導助手に関する事、姉妹校交流に関する事、遠距離通学に関する事、税外収入に関する事、学校に関する各種調査、GIGAスクールに関する事、学校給食に関する事、その他学校教育に関する事</p>
<p>学校給食センター所長 (西村 雅人)</p> <p>次長 中村 繁人</p> <p>TEL 5-2555 FAX 5-3950</p>	<p>— 学校給食係長 (中村 繁人) — (中谷 駿介)</p> <p>栄養教諭・管理栄養士 大島 智恵</p> <p>学校給食センターの管理運営、諸業務、施設の点検・整備</p>
<p>社会教育課長 大谷 宏明</p> <p>課長補佐 土本 千晶 主 幹 山本 幸代</p> <p>TEL 2-1295 FAX 2-1131</p>	<p>— 社会教育係長 (土本 千晶) — 前川 集記・佐藤 陽菜 (中原 央人)</p> <p>社会教育委員、青少年教育・成人教育・高齢者教育、青少年団体・文化団体の育成指導、社会教育施設の整備・管理運営、文化財の保護、郷土資料の収集保存管理、成人式、生涯学習、その他社会教育に関する事</p> <p>— 社会体育係長 小林 兼治 — 中原 央人 (前川 集記) (佐藤 陽菜)</p> <p>社会体育事業、社会体育施設の整備・運営管理、スポーツ推進委員、社会体育団体の育成指導、学校開放事業、地域体育の振興、その他社会体育に関する事</p>
<p>図書館長 山原 光広</p> <p>TEL 2-2215 FAX 2-2632</p>	<p>— 管理課主任 (山原 光広) — 内藤 佳弥【渡辺 晶子】久米 律一</p> <p>公印の管守、文書の收受・発送・整理・保存、図書館協議会、物品の出納管理、図書資料の発注・収集・整理保存、図書資料の分類配列・目録の整備、参考業務・読書相談、図書館事務に関する事</p>
<p>武道館・温水プール館長 (大谷 宏明)</p> <p>副館長 前 典宏</p> <p>TEL 2-2261 FAX 2-1461</p>	<p>— 管理指導係長 佐藤 大輔 — (中原 央人) (前川 集記)</p> <p>公印の管守、公文書の收受・発送・整理・保存、物品の出納管理、施設の使用許可、施設の整備・維持管理、体育・スポーツ・レクリエーション活動普及・調査研究、資料の収集・整理保存・活用、各種スポーツの適正・健康・体力相談、施設利用者に対する事故防止の監視、目的を達成に必要な事業</p>

佐呂間町民憲章

わたくしたちは、森と湖のきびしい大自然の中で開拓した先人のたくましい精神を受けつぐ佐呂間町民であることを誇りとしています。

わたくしたちは、自然の恵みに感謝しながら生きがいのある生活確立し、希望と自信をもって、ひとりひとりの幸せと未来に伸びゆく、豊かで明るいまちをつくるため、この憲章を定めます。

わたくしたち佐呂間町民は、英知と友愛と勇氣をもって、

- 1 自然の恵みを生かし、美しく住みよいまちをつくります。
- 1 迷んできまりを守り、明るく平和なまちをつくります。
- 1 たがいに助け合い、あたたかく幸せなまちをつくります。
- 1 仕事に誇りを持ち、楽しく豊かなまちをつくります。
- 1 若い力をそだて、伸びゆく文化のまちをつくります。

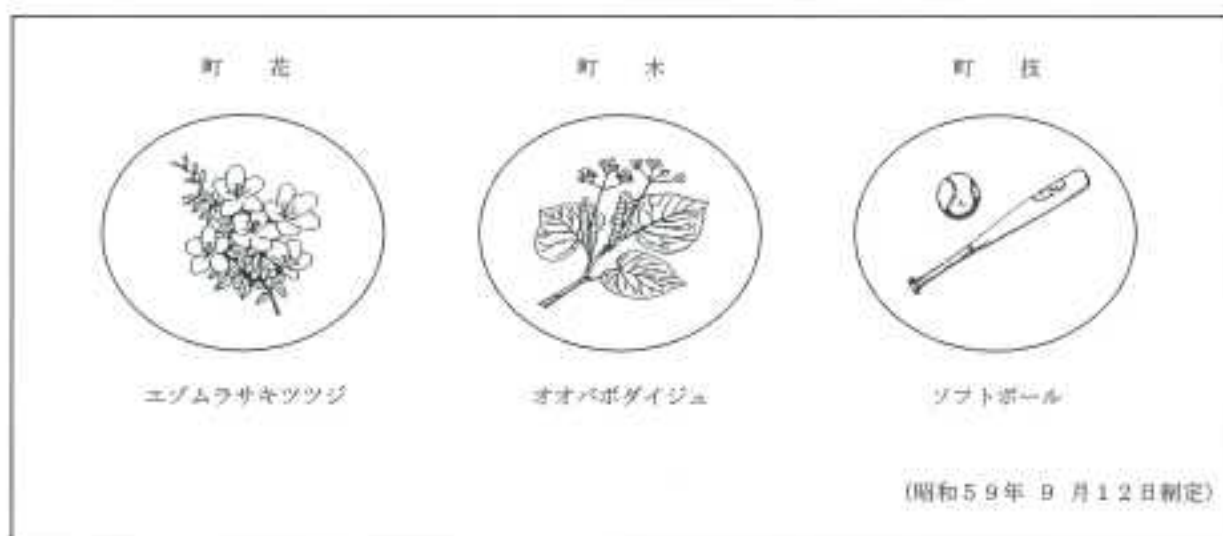
(昭和50年12月11日制定)

生涯スポーツの町宣言

わたくしたち佐呂間町民は、生涯を通じて、スポーツを受したくましい心と体を鍛え、健康で明るい豊かな郷土を築くため「生涯スポーツの町」を宣言します。

- 1 スポーツを愛し、豊かな心と健やかな体をつくりましょう。
- 1 スポーツに親しみ、いつまでも活力ある生活を送りましょう。
- 1 スポーツを楽しみ、ふれあいと友情を深めましょう。
- 1 スポーツの輪を広げ、明るく住みよいまちをつくりましょう。

(昭和62年5月7日宣言)



「令和5年度 佐呂間町教育の概要」

佐呂間町教育委員会 管理課総務係

TEL : 01587 (2) 1294

FAX : 01587 (2) 1131

E-mail : kyoui@town.saroma.hokkaido.jp

